

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

図面番号	図 面 名		図 面 名
A- 01	建築工事特記仕様書（その 1）	A- 22	〈仮設校舎〉電気設備図
02	建築工事特記仕様書（その 2）	23	〈仮設校舎〉コンセント設備図
03	建築工事特記仕様書（その 3）	24	〈仮設校舎〉弱電設備図
04	建築工事特記仕様書（その 4）	25	〈仮設校舎〉動力設備図
05	建築工事特記仕様書（その 5）	26	〈仮設校舎〉系統図
06	建築工事特記仕様書（その 6）	27	〈仮設校舎〉自動火災報知設備図
07	建築工事特記仕様書（その 7）	28	〈仮設校舎〉誘導灯設備図
08	解体工事特記仕様書	29	〈仮設校舎〉給排水設備配置図・平面図
09	案内図、全体配置図、仮設参考図	30	〈仮設校舎〉換気設備図
10	〈仮設校舎〉仮設校舎周辺配置図	31	〈仮設校舎〉空調設備機器リスト（リースエアコン）
11	〈仮設校舎〉設計概要・仕上表	32	〈仮設校舎〉空調設備（リースエアコン）平面図
12	〈仮設校舎〉平面図	33	〈仮設校舎〉敷地整備図
13	〈仮設校舎〉立面図・断面図	34	〈仮設校舎〉仮設建築物解体後敷地整備図
14	〈仮設校舎〉建具キープラン・建具表・法チェック		
15	〈仮設校舎〉仮設校舎断面詳細図		
16	〈仮設校舎〉渡廊下平面図、立面図、求積図、矩計図、部分詳細図		
17	〈仮設校舎〉備品リスト		
18	〈仮設校舎〉基礎伏図		
19	〈仮設校舎〉小屋伏図		
20	〈仮設校舎〉軸組図		
21	〈仮設校舎〉耐力壁詳細図		

※記事

建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計

登 録 番 号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設 計 者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士
野添勝久
管理技術者
野添義二
設計者
野添義二

工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

図面名称
表紙・図面リスト

図
書
年
度

2024. 7

A1
A3-----

第
図

図面No.
A-00

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

特記仕様書

I

工事概要

1.工事場所

宮崎県宮崎市大字島之内2100

2.敷地面積

33,660㎡

3.工事概要

建 物 名 称	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	備考
仮設校舎（実習棟）	プレハブ構造	1	458.15	410.66	
仮設渡廊下（TP1）	プレハブ構造	1	40.50		
仮設渡廊下（TP2）	プレハブ構造	1	33.65		

上記に係る仮設校舎建設他工事

II

建築工事仕様

1

共通仕様

(1)

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という。)による。

(2)

電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書、標準仕様書及び標準図を適用する。

(3)

本工事の事務処理に当たっては、宮崎県県土整備部営繕課制定の工事事務処理要領による。

2

特記仕様

(1)

章は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2)

項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3)

特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図、当該表を示す。

(4)

関係法令の改正等により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督員と協議すること。

別表-1

設備工事との工事区分表

●印は工事範囲とする

工 事 内 容		本工事 (建築工事)	電気設備 工事	機械設備 工事
機器の基礎	電 気 関 係	配電盤 ・ 制御盤の基礎	●	●
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	●	
		テレビアンテナ基礎(〃)	●	
		避雷針の基礎 (〃)	●	
		屋内設備		●
	機 械 関 係	屋上設備 (架台、アンカーボルトを除く)	●	●
		架台、アンカーボルト(電気及び機械関係以外)	●	
		特記した基礎(電気及び機械関係以外)	●	
		梁、床、壁	●	●
		貫通スリーブ	●	●
開 口 部	梁、床、壁	●	●	
	貫通部型枠	●	●	
	軽重量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	●	●	
	埋込形分電盤、端子盤等の型枠	●	●	
	断熱材兼用型枠の切込	●	●	
	上記開口部の補強	●	●	
	上記開口部の墨出し	●	●	
	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)	●	●	
	0Aフロア用配線器具	●	●	
	点 検 口	床、壁、天井	●	●
外部取付ガ 列	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	●	●	
湯沸室のフード		●	●	
換気扇の取付枠		●	●	
流 し 台	排水トラップ共	●	●	
防 油 堤	オイルサービスタンクの防油堤	●	●	
床下マンホールの蓋	タンク基礎	●	●	
屋外排水管	雨水	●	●	
雨水立管（たてどい）	汚水、雑排水	●	●	
手すり	多機能便所	●	●	
化粧鏡	上記以外	●	●	
はめ込形洗面器用カウンター（前板共）		●	●	
ガスボンベ転倒防止用の鎖		●	●	
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	●	●	●
	防火扉レリーズ	●	●	●
	電極棒	●	●	●
	既製間仕切壁(パネル工法)の配管及び埋込ボックス	●	●	●
	配線ビッド及びふた	●	●	●
	別途機器などへの接続	●	●	●
	ガス漏れ検知器		●	●
	電 気 錠	電気錠及び通電金具	●	●
		T E Nキー及び制御盤	●	●
	ユニットバス、ユニットバス内水栓		●	●
ユニットバス換気扇		●	●	
ユニットバスへの給水給湯管、排水管接続		●	●	
洗濯機パン		●	●	
システム天井	ボード・Tバー	●	●	
	照明ライン設備プレート	●	●	
	空調ライン設備プレート	●	●	

章

項 目

特 記 事 項

①

各 章 共 通 事 項

○ 適用基準等

○ 設備工事との
取り合い

○ 実施工程表

○ 施工図等の取扱い

・ 電気保安技術者

○ 施工条件

○ 発生材の処理等

○ 建築材料等

○ 建築工事標準詳細図

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (令和4年改定)

・ 構内舗装 ・ 排水設計基準

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (平成27年版)

・

建築基準法施行令第87条に基づく風圧区分等

○ 基準風速(Vo) (3 6) m/s

○ 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV

○ 積雪区分 建設省告示第1455号 別表(3 9)

施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による。

施工図等 設備機器の設置、取り合い等が検討できる施工図を提出すること。

監督員の承諾を受けること。

・ 概成工期 (令和 年 月 日)

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

○ 配置する ・ 配置しない

標仕1.3.5(1)以外の施工条件

・ 図示 ○ 現場説明書による

・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 ・ PCB含有物 ・)

○ 引渡しを要するものの以外 ○ 構外搬出適正処理とする

・ 再利用又は再資源化を図るもの ()

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)

・ 対象建設工事

対象建設工事を受注予定の業者は、特定建設資材に係る分別解体等に関する省令で定める様式第1号及び別表1～3のうち当該工事に該当する別表、工程表を作成し、契約締結前に監督員に提出、説明するものとする。

対象建設工事の種類

規模の基準

対象 建築物の解体

床面積の合計 80㎡以上

建設 建築物の新築・増築

床面積の合計 500㎡以上

工事 建築物の修繕・模様替(リフォーム等)

請負代金の額 1億円以上

建築物以外のものの解体・新築等(土木工事等)

請負代金の額 500万円以上

○ 対象外建設工事

本特記仕様書の各章における下地材、接着剤、仕上げ材、塗料材、家具等のホルムアルデヒド放散量

○ F☆☆☆☆ ○ 屋内

・ 屋外 部位等 (・ 図示による ・)

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマークの表示の無い材料及び製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許又はこれらに準じるものを取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(一社)公共建築協会他)が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。

また、商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

木材については、宮崎県産材を使用するよう努めるものとする。

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定する工法とする。

・ 特別な材料の工法

・ 技能士

本工事中において、下記の○印は1級技能士を、○印は1級技能士又は2級技能士を適用すること。

工事科目

職 種

作業の種別

仮設工事

とび

・ とび作業

鉄筋工事

鉄筋施工

・ 鉄筋組立て作業

コクリト工事

型枠施工

・ 型枠工事作業

鉄骨工事

とび

・ とび作業

防水工事

防水施工

・ アスファルト防水工事作業

・ 改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業

・ 合成ゴム系シート 防水工事作業

・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業

・ シーリング防水工事作業

木工事

建築大工

・ 大工工事作業

屋根及びとい工事

建築板金

・ 内外装板金作業

左官工事

左官

・ 左官作業

建具工事

サッシ施工

・ ビル用サッシ施工作業

ガラス施工

ガラス工事

・ ガラス工事作業

塗装工事

塗装

・ 建築塗装作業

内装工事

鋼製下地

・ 鋼製下地工事作業

表装

・ 壁装作業

量製作

・ 量製作作業

植栽工事

造園

・ 造園工事作業

・

(1棟の延床面積が1000㎡を超える建築物又は植栽工事で工事金額が500万円を超える工事は、原則として1級技能士とする)

厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告すること。

なお、測定機器は受注者が購入すること。

測定対象室及び測定箇所数

・ 一般庁舎等 ()

・ 学校施設等 ()

・ 県営住宅等 (戸)以上かつ各住戸2室以上

・ 仕上げ表による

実施する場合の測定対象の化学物質及び濃度指針値(25℃の場合)

・ ホルムアルデヒド(0.08ppm)

・ トルエン(0.07ppm)

・ キシレン(0.05ppm)

・ ベンゼン(0.04ppm)

・ エチルベンゼン(0.88ppm)

・ スチレン(0.05ppm)

測定法

○ 蒸気拡散式分析法(測定バッチ)

・ 定電位電解法

・ 検知管法

・ 検知紙法

・ 吸光度法

・ ()

①

各 章 共 通 事 項

(続 き)

・ 竣工写真等

○ 完成図等

○ 安全に関する資料

○ 設計GL

○ 工事写真

原則として、電子データで下記のものを監督員に提出する。

撮影方法については、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」国土交通省大臣官房官庁営繕部制定及び監督員の指示による。

区分

分類・規格

提出方法

提出部数

備 考

着工前

○ カラー、デジタル写真

○ CD-R

○ 1部

・ (部)

工事中

○ カラー、デジタル写真

○ CD-R

○ 1部

・ (部)

完成時

○ カラー、デジタル写真

○ CD-R

○ 1部

・ (部)

完成写真

○ カラー、デジタル写真

○ 紙

○ 1部

・ (部)

全景は、原則植栽工事を完了後とする。

詳細は、「工事事務処理要領」による

下記のことを監督員に提出する。但し、ネガフィルム等は撮影者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原画寸法(mm)

○ カラー

外部

○ 4枚以上

○ 2部

○ 100×125以上

○ キャンペ版

・ (枚)

・ (部)

・ ()

・ (枚)

・ 電子データをCD-R等で提出する

(1.7.1、2) (表1.7.1)

○ 2ツ折り製本

○ 1部

・ (部)

設計変更等に伴う図面修正は、受注者が行うこと

○ 修正CADデータ及びPDFデータ

○ 1部

・ (部)

設計変更等に伴う図面修正は、受注者が行うこと

(1.7.1、3)

○ 2部

・ (部)

保全情報データシート

・ 電子データにより、監督員に提出する

・ 紙面により、監督員に提出する

○ 図示による

○ 監督員事務所

仮 設 工 事

○ 工事用水、電力、その他

○ 足場その他

○ 埋戻し及び盛土

土 工 事

○ 建設発生土の処理

○ 山留の撤去

(1.2.4)

○ カラー、デジタル写真

○ CD-R

○ 1部

・ (部)

○ カラー、デジタル写真

○ CD-R

○ 1部

・ (部)

○ カラー、デジタル写真

○ CD-R

○ 1部

・ (部)

○ カラー、デジタル写真

○ 紙

○ 1部

・ (部)

全景は、原則植栽工事を完了後とする。

詳細は、「工事事務処理要領」による

下記のことを監督員に提出する。但し、ネガフィルム等は撮影者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原画寸法(mm)

○ カラー

外部

○ 4枚以上

○ 2部

○ 100×125以上

○ キャンペ版

・ (枚)

・ (部)

・ ()

・ (枚)

・ 電子データをCD-R等で提出する

(1.7.1、2) (表1.7.1)

○ 2ツ折り製本

○ 1部

・ (部)

設計変更等に伴う図面修正は、受注者が行うこと

○ 修正CADデータ及びPDFデータ

○ 1部

・ (部)

設計変更等に伴う図面修正は、受注者が行うこと

(1.7.1、3)

○ 2部

・ (部)

保全情報データシート

・ 電子データにより、監督員に提出する

・ 紙面により、監督員に提出する

○ 図示による

(2.3.1)

・ 設ける

規模

・ () ㎡程度

仕上げ

監督員の指示による。

設備

○ 電灯

○ 給排水

○ 空調

・ ()

備品

○ 机

○ イス

・ 長靴

・ κά ば

・ 保安帽

○ 懐中電灯

・ ()

・ ()

○ 設けない(但し、受注者事務所に打合せスペースを確保すること)

本工事に必要な工事用水、工事用電力(基本料金を含む)及び官公署等への諸手続、その他建築物引き渡しまでに要する費用は、全て受注者の負担とする。

構内既存の施設

工事用水

○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償)

・ 利用できない

工事用電力

○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償)

・ 利用できない

(2.2.4)

屋根面に設ける足場と装備機材の組合せ

・ 別途

・ 図示

(3.2.3)(表3.2.1)

材料及び工法

○ 標仕(表3.2.1)による

種別

・ A種

○ B種

・ C種

・ D種

C種の場合

(発生場所)

(連絡先)

(運 搬 ・ 発生原因者側 ・ 本工事)

・ 材料 ()

工法 ()

(3.2.5)

・ 構内指示の場所にたい積

・ 構内指示の場所に敷き均し

・ 構外搬出適正処理

・ 構外指示の場所に搬出

受け入れ場所 ()

搬出距離 (km)

上記に示す指示等の実施にあたっては、監督員と協議のうえ決定する。

(3.3.3)

鋼矢板等の抜き後

・ 砂で充填

・

④

地 業 工 事

・ 地盤調査の結果

○ 支持地盤

・ 杭地業等

○ 砂利地業

○ 捨コンクリート地業

○ 床下防湿層

・ 建設汚泥の処分

調査位置、柱状図、地層構成、地下水位

・ 図示による () ・

(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4、5)(4.4.4)(4.5.5、6)

・ 杭基礎

支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)

・ 図示による () ・

・ 直接基礎

支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)

・ 図示による () ・

長期設計支持力度

・ () kN/㎡

試験掘(根切り底)による支持地盤の確認

・ 行う 位置等は図示による () ・ 行わない

地盤の載荷試験

・ 行う 試験の位置、方法等は図示による () ・ 行わない

建築工事特記仕様書(その7)

材料

○ 再生ｸﾞﾗﾝｳﾞｪﾝ

・ 切込砂利及び切込砕石

(4.6.2)

厚さ及び使用範囲

(4.6.3)

厚さ

使用範囲

・ 60

基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下

○ 100

(基礎梁下、土間コンクリート下)

コンクリートの仕様

(4.6.4)(6.14.1～3)

○ 無筋コンクリートによる

・

セメントの種類

・ 高炉セメントB種

・

(6.3.1)

厚さ及び使用範囲

(4.6.4)

厚さ

使用範囲

○ 50

基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下

・ ()

設計基準強度

・ 18N/㎡

・

スランプ

・ 15cm

・ 18cm

(4.6.2、5)

施工範囲

○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ビット下を除く)

ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下

・ ()

材料

・ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上

・

・ 中間処分施設へ搬入、処理

・ 構内中間処理、埋戻し

・ 管理型処分施設へ搬入

(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号

呼び名(mm)

備考

○ SD295

○ D16以下

・ SD345

○ D19以上

○ 鉄筋の種類

○ 鉄筋の継手

継手方法等

(5.3.4)(5.5.2、3)

柱、梁の主筋

・ ガス圧接

・ 機械式継手

・ 溶接継手

・ 重ね継手

耐力壁の鉄筋

・ 重ね継手

その他の鉄筋 (土間)

○ 重ね継手

・

隅り合う継手の位置

先組み工法等により、柱、梁の主筋の継手が同一箇所

た だ し 、 断 熱 材 が あ る 場 合 は 、 断 熱 材 の 直 下

・ ()

○ 設けない

○ 鉄筋の定着長さ

機械式定着工法

・ 適用する

適用箇所

・ 図示による () ・

種類

・ 摩擦圧接接合

・ 蝶合グラウト固定

・ 嵌合グラウト固定

工法

・ 第三者機関の評定等を取得している工法とする

(5.3.5)

・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による

施工場所

標仕(表5.3.6)の値に加える寸法(mm)

○ 10

・

最小かぶり厚さは目地底から算出する。

○ 図示による (各部配筋詳細図)

(5.3.7)

○ 各部配筋

・ 圧接完了後の試験

・ 機械式継手

使用箇所

・ 図示による () ・

性能 (H12建告第1463号に適合するもの)

・ A級

・

種類

・ ねじ式鉄筋継手

充填方式

・ 無機グラウト方式

・ 有機グラウト方式

・ 端部ねじ加工継手

・ モルタル充填式継手

鉄筋相互のあき

・ 評定等の評価内容による

・ 図示による ()

施工完了後の継手部の試験

(5.5.5)

・ 外観試験

試験項目

・ 評定等の評価内容による

・

試験方法

・ 評定等の評価内容による

・

・ 超音波測定試験

試験対象

・ 全数

・

不良となった継手の修正方法等

・ 図示による

宮崎県建築工事特記仕様書

宮崎県県土整備部営繕課

令和5年4月版

建築士事務所名

有限会社 野添設計

一級建築士事務所

宮崎県知事登録

C-5666

号

一級建築士登録

第

253725

号

工事名称

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

図面名称

建築工事特記仕様書 (その1)

検 図

図面番号

A- 01

10	石工事	・ 割付け ・ 清掃 ・ 天然石張り ・ テラゾ張り ・ 取付け金物 ・ その他の材料 ・ 石張り工法 ・ 石裏面処理 ・ 裏打ち処理 ・ 目地等	石材の割付け ・ 図示 屋内の床を本磨きとする場合のワックスかけ ・ 行う (適用場所 ・ すべて) ・ 行わない (10.1.5) (10.2.1)(表10.2.1、2) 石の種類、表面仕上げ 施工箇所 岩石の種類 等級 形状及び寸法(mm) 厚さ(mm) 表面仕上げの種類 ・ 床石 ・ 2等品 ・ 正方形に近い矩形 ・ 図示 ・ 粗磨き ・ 本磨き ・ 2等品 ・ 正方形に近い矩形 ・ 図示 ・ 粗磨き ・ 本磨き ジェットバーナーの場合のバツ仕上げ ・ 有 ・ 無 (10.2.1)(表10.2.1、2) 磨石の種類 ○ 大理石 ・ () 上記に係る仮設校舎建設工事 寸法による区分 ・ 300型 ・ 400型 ・ 表面仕上げ ・ (10.2.2)(表10.2.3～4) ・ 外壁湿式工法及び内壁空積工法 受金物の材質、形状及び寸法 ・ 図示による ・ その他() 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ・ 図示 ・ 標仕(表10.2.4)による (方式: ・ スリット方式 ・ ロッキング方式) あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ 図示による ・ その他() (10.2.3) 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質 ・ 樹脂被膜製パイプ 加工法巻き 25～35φ ・ 石材の厚さ ・ 図示による ・ その他() (10.3.2、3)(10.4.2、3)(10.5.2、3)(10.6.2、3) 外壁石張り工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 乾式工法 内壁石張り工法 ・ 内壁空積工法 ・ 乾式工法 (10.3.2)(10.4.2)(10.5.2)(10.6.2～3)(10.7.2～3) ・ 行う (・ 小口共) (箇所 ・ 行わない (10.3.2)(10.4.2)(10.5.2)(10.7.2) ・ 行う ・ 次の箇所には行わない (箇所 (10.3.3)(10.4.3)(10.5.3)(10.6.2)(10.7.2) ・ 伸縮調整目地 位置 ・ 図示による ・ その他() ・ 図示による ・ その他() ・ 屋外4m以上、屋内3～6m程度 ・ 外壁に適用する場合の建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した構法	・ 木材 ・ 造作用集成材 ・ 造作用単板積層材 ・ 床張り用合板等 ・ 防菌・防蟻 ・ 防虫処理	(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1) ・ JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用針葉樹製材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 樹種 寸法mm 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 見え掛り面 見え掛り面以外 ○ 2級 ・ ○ A種 ・ B種 ・ ○ 2級 ・ ○ A種 ・ B種 ・ ・ JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用針葉樹製材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 樹種 寸法mm 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 見え掛り面 見え掛り面以外 ○ 上小節 ・ ○ 10%以下 ・ ○ A種 ・ B種 ・ ○ 1等 ・ ○ 1等 ・ ・ JAS 1083 (製材) 以外の製材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 樹種 寸法mm 造作材の材面の品質 防虫処理 含水率 (・ A種 ・ B種) ・ 適用する ・ 適用しない ・ (12.2.1) 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 ○ 1等 ・ 2等 ○ 1等 ・ 2等 ○ 1等 ・ 2等 ・ ・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法mm 化粧薄板の厚さmm 見付け材面の品質 ○ 1等 ・ 2等 ○ 1等 ・ 2等 ○ 1等 ・ 2等 ・ ・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法mm 化粧薄板の厚さmm ・ ・ ・ ・ ・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 樹種 寸法mm 見付け材面の品質 含水率 ○ 15%以下 ・ ○ 15%以下 ・ ○ 15%以下 ・ ・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法mm 化粧薄板の厚さmm 見付け材面の品質 含水率 ○ 15%以下 ・ ・ ・ ・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法mm 化粧薄板の厚さmm 見付け材面の品質 含水率 ○ 15%以下 ・ ・ ・ ・ (12.2.1) ・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 厚さmm 表面の化粧加工 防虫処理 ・ 有り(加工: ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ 無し(等級:) ・ 適用する ・ 適用しない ・ JAS 0701以外の造作用単板積層材 ○ 図示による ・ 下表による 施工箇所 厚さmm 表面の化粧加工 含水率 防虫処理 ・ 有り(加工: ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ 無し(等級:) ・ 適用する ・ 適用しない (12.2.1) ・ 普通合板 施工箇所、厚さ、表板の樹種名、接着の程度、板面の品質、防虫等の処理 ・ 図示による ・ その他() ・ 構造用合板 施工箇所、厚さ、表板の樹種名、接着の程度、等級、板面の品質、防虫等の処理 ・ 図示による ・ その他() ・ パーティクルボード 施工箇所、厚さ、表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分、難燃性による区分 ・ 図示による ・ その他() ・ 構造用パネル 施工箇所、厚さ、等級 ・ 図示による ・ その他() (12.3.1) ・ 防菌・防蟻処理が不要な樹種による製材 適用部位() ・ 薬剤の加圧注入による防菌 適用部位() ・ 防蟻処理 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ 薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理 適用部位() 処理の方法 ○ 標仕12.3.1(f)(b) ・ ・ 薬剤の種類 ・ JIS K 1571に適合又は同等品 ・ 薬剤の接着剤への混入による 防菌・防蟻処理 適用部位() 合板等の加圧注入処理の適用 適用部位() (12.3.2) ・ 木材処理(防虫) 施工箇所: 合板、集成材等を除く全ての木材 処理方法: 処理区分: ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。	⑬ 屋根及びとい工事 ○ 折板葺 ・ 長尺金属板葺 ○ 折板葺 ・ 粘土瓦葺 ○ とい ⑭ 金属工事 ・ あと施工アンカーの確認試験 ・ ステンレスの表面仕上げ ・ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 ・ 鉄鋼の亜鉛めっき ○ 軽量鉄骨天井下地 ・ 軽量鉄骨壁下地 ・ 金属成形板張り	(13.2.2、3) 施工箇所 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ(mm) 屋根葺形式 ・ JIS G 3322の屋根用コイル (CGLCCR-20-AZ150) ・ ・ 横葺 ・ 下葺材料 ○ アスファルトルーフィング 940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (・ 一般タイプ ・ 複層材タイプ ・ 粘着層付タイプ) ・ 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・ 設置する (図示) (13.2.2)(13.3.2、3)(表13.2.1) 形式 ○ 重ね形 ・ はせ縁め形 ・ かん合形 形状(mm) 山高 (8 8) 山庇 () 板厚(○ 0.6 ・ 0.8) 耐力による区分 種 材料(規格等) ・ 塗装溶融55%アルミニウム ・ 亜鉛合金めっき鋼帯 (C G L C C R -20-AZ150) ・ () 葦先面戸板 ・ 有り ○ 無し 断熱材 ・ 有り (種別: 厚さ(mm):) ○ 無し 耐火性能 ・ 30分耐火 ○ 無し JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理 (標仕(表14.2.2)による ・ E種 ・ F種 折半のけらば納め ・ けらば包みによる方法 ・ ・ 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 (13.4.2) 種類 () 大きさ () 産地等 () ・ 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 (13.5.2、3)(表13.5.4) 材種 ○ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (・ V P ・ カラーV P) 掃除口 ○ 無し ・ 有り 部位等 () とい受金物 (13.5.2)(表13.5.3) 材種 ○ ステンレス製 ・ 標仕(表13.5.2)による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) 取付け間隔 ・ 標仕(表13.5.2)による (14.1.3) 引抜き耐力の確認試験 ○ 行う ・ 行わない 設計用引張強度 ・ 図示による ・ その他() (14.2.1) 種 類 施工箇所(手すり、タラップ、建具以外) ○ ハナフシ(HL)程度 ・ 下記以外の見え掛り全て ○ No.2B程度 ・ ・ 鏡面仕上げ程度 ・ () (14.2.2)(表14.2.1) 種 別 色合い等 施工箇所(成形板、笠木、建具以外) 備 考 ・ ・ 標準色 () ・ 特注色 () ・ ・ 陽極酸化皮膜の着色方法 ○ 二次電解着色 ・ 三次電解着色 (14.2.3)(表14.2.2) 表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、タラップ以外) 溶融亜鉛めっき ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 電気亜鉛めっき ・ (14.4.2～4)(表14.4.1) 野緑等の種類 屋外 (・ 25形 ・ 19形) 屋内 (・ 19形 ・ 25形) 野緑受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 900程度 ・ () 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・ 300程度 ・ () 野緑の間隔 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ○ 図示 ・ その他() 天井のふところ高が3mを超える場合の補強方法 ○ 図示 ・ その他() 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・ 図示 ・ 補強方法 ・ 図示 ・ 天井下地材における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所 ・ 図示 ・ 補強方法 ・ 図示 ・ (14.5.3、4)表(14.5.1) ｽﾀｯﾄﾞ、ﾌﾅｯﾄの種類 ○ 標仕(表14.5.1)によるｽﾀｯﾄﾞの高さによる
----	-----	--	---	--	--	---	---

[illegible]

[illegible]

23

植栽工事及び屋上緑化

・ 植栽地の確認等

(23.1.3)

・ 植栽基盤の整備

(23.2.2、4)

土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験

電気伝導度(EC)の試験

・ 行う

・ 行わない

・ 行う

・ 行わない

植栽基盤整備

・ 適用する

・ 適用しない

植 栽	工 法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
・ 樹木	○ A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分	・ 適用する
	・ B種	(○ 100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない
	・ C種	樹高7m以上12m未満	・ 図示	
	・ D種	(○ 80 ・ 100)		
		樹高3m以上7m未満		
		(○ 60 ・ 80)		
		樹高3m未満		
		(○ 50 ・ 60)		
・ 芝、 地被類	○ B種	○ 20	・ 植栽範囲	・ 適用する
	・	・	・ 図示	・ 適用しない

上記に係る仮設校舎建設他工事
但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする

植栽基盤の排水設備

・ 設ける (○ 図示 ・)

・ 設けない

・ 埋込み用土

(23.2.3)

・ 土壌改良材

(23.2.3)

○ 図示による

・

・ 樹木

樹種、寸法、株立数等

○ 図示による

・

(23.3.2)

・ 支柱

支柱材

○ 丸太 ・ 真竹 ・

防腐処理方法

○ 加圧式防腐処理丸太材

(23.3.2、3)

・ 幹巻き用材料

○ 幹巻き用テープ

・ わら及びこも

(23.3.2)

・ 芝

種類

○ コウライシバ ・ ノシバ ・

芝張りの工法

平地

○ 目地張り

・ べた張り

法面

・ 目地張り

○ べた張り

(23.4.2、3)

・ 吹付けは種

種子の種類

○ 洋芝類(採取後2年以内)

・

発芽率

○ 80%以上

・

・ 種子の量

g/m2

(23.4.2)

・ 地被類

(23.4.2)

樹 種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・			
・			

・ 屋上緑化

(23.5.2、3)

植栽基盤及び材料

・ 屋上緑化システム

土壌層の厚さ

・ 図示

・

排水層

・ 軽量骨材(層の厚さ：)

・ 板状成形品

埋込み用土

○ 改良土

・ 人工軽量土

樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等

○ 図示

・

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

○ 図示

・

・ 枯補償

(23.3.4)

新植樹木の枯補償

補償期間

○ 引渡しの日から1年

・ その他()

(23.3.6)

移植樹木の枯損処置

樹木等の伐採伐根及び移植の方法は図示による

移植樹木の枯損処置期間

○ 引渡しの日から1年

・ その他()

芝及び地被類の枯補償

補償期間

○ 引渡しの日から1年

・ その他()

(23.4.7)

24

昇降機設備工事

昇降機設備工事については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」の第9編昇降機設備工事による。

25

その他特記事項（続き）

宮崎県建築工事特記仕様書

宮崎県県土整備部営繕課

令和5年4月版

建築士事務所名

有限会社 野添設計

工事名称

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

図面名称

建築工事特記仕様書（その6）

検図

図面番号

A- 06

4

地業工事

既製コンクリート杭地業

(4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)～(4.3.6)(4.3.8)

種類

・遠心力高強度プレストレスコンクリート杭(PHC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料・SKK400・SKK490
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・

試験堀

・行う
孔径はオーガー径とする
位置及び長さは図示による()
試験堀の施工は試験杭の施工に先立ち行う
・行わない

杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等 (4.2.2)(4.3.3)

	種類	種別	コンクリート強度 (N/mm2)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						

試験杭の施工

○本杭の施工に先立ち行う
試験杭の位置、本数
○最初の一本
・図示による()

杭先端部形状

・開放形
・半開放形
・閉そく形
・

施工方法

・セメントミルク工法
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・図示
杭の支持地盤への根入れ深さ
・図示
杭の精度
水平方向の位置ずれ
杭径の1/4かつ100mm以下
建込み時の杭の鉛直度
1/100以内
・

・特定埋込杭工法

・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で
α=250を採用できる工法
図示による()
・上記以外の特定埋込杭工法
認定番号
支持力係数
α≧

工法

・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・

杭周固定液

・使用する
・使用しない

杭の精度

水平方向の位置ずれ
・評定等の評価内容による
・
杭の傾斜
・評定等の評価内容による
・

杭の支持層への根入れ深さ

・図示による()
・評定等の評価内容による

杭継手工法

・アーク溶接継手
・標仕4.3.6による
溶接材料
・標仕7.2.5(1)(2)による
・図示による()
・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法
○評定等を受けた工法
(図 による)
検査
○評定等により定められた項目
(図 による)
施工
○評定等をされた施工管理基準による
(図 による)

杭頭の処理

・行う
処理方法(切断にともなう補強方法含む)
・図示による()
・行わない

杭頭の中詰め材料

○基礎のコンクリートと同調合のもの
・

4

地業工事

(続き)

種類

・SKK400・SKK490・

杭の種類、寸法、継手等

	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						

試験杭の施工

○本杭の施工に先立ち行う
試験杭の位置、本数
○最初の一本
・図示による()

施工方法

・特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で
α=250を採用できる工法
図示による()
・上記以外の特定埋込杭工法
認定番号
支持力係数
α≧

工法

・中堀り拡大根固め工法
・

杭の支持地盤への根入れ長さ

・評定等の評価内容による
・

杭の精度

水平方向の位置ずれ
・評定等の評価内容による
・
建込み時の杭の鉛直度
・評定等の評価内容による
・

杭の現場継手

・アーク溶接継手
形状
JIS A 5525による
溶接材料
・標仕7.2.5(1)(2)による
・図示による()
・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法
○評定等を受けた工法
(図 による)
検査
○評定等により定められた項目
(図 による)
施工
○評定等をされた施工管理基準による
(図 による)

杭頭の処理

・行う
処理方法(切断にともなう補強方法含む)
・図示による()
・行わない

杭頭の中詰め材料

○基礎のコンクリートと同調合のもの
・

杭径、長さ、仕様等

・図示による()
・

材料その他

・帯筋の加工及び組立
・図示による()
・鉄筋の最小かぶり厚さ
・図示による()
鉄筋かごの補強
組み立てた鉄筋の節ごとの継手
・重ね継手
・重ね継手の長さ
・図示による()
・主筋の基礎底盤への定着長さ
・図示による()
セメントの種類
・高炉セメントB種
・
(4.5.4)(6.3.1)
コンクリートの種別
・A種
・B種
・評定等の評価内容による
コンクリートの設計基準強度
() N/mm2
(4.5.4～6)
スランブ
・
○18 c m
・21 c m
・
構造体強度補正值(S)
・
・3 N/mm2
・評定等の評価内容による

掘削工法

・アースドリル工法
安定液
○使用する
・使用しない
・リバース工法
・オールケーシング工法
孔内の水張り
・行う
・行わない

併用する工法

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
図示による()
鋼管巻き材料
・SKK400・SKK490
・
・拡底杭工法
安定液
・使用する
・使用しない

試験杭

試験杭の施工
○本杭の施工に先立ち行う
・
試験杭の位置、本数
○最初の一本
・図示による()

4

地業工事

(続き)

孔壁測定

・行う
測定方法、測定箇所は図示による()
・行わない

杭の支持層への根入れ深さ

・図示による()
・

杭の精度

水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下
・評定等の評価内容による
・
建込み時の杭の鉛直度
・1/100以内
・評定等の評価内容による
・

工法

・浅層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ()
長期設計支持力
・() kN/m2
・
・深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ()
長期設計支持力
・() kN/m2
・

形状、支持地盤、仕様

・図示による()
長期設計支持力
・() kN/m2
・

セメントの種類

・高炉セメントB種
・

コンクリートの設計基準強度

() N/mm2

構造体強度補正值(S)

() N/mm2

工法

・()

仕様、範囲、計測、試験等

・図示による()

地盤改良
(セメント系固化剤を用いた工法による改良)

置換コンクリート地業
(トップ #コンクリート地業)

液状化対策

宮崎県建築工事特記仕様書

宮崎県県土整備部営繕課

令和5年4月版

建築士事務所名

有限会社 野添設計

一級建築士事務所

宮崎県知事登録

C-5666

号

一級建築士登録

第

253725

号

工事名称

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

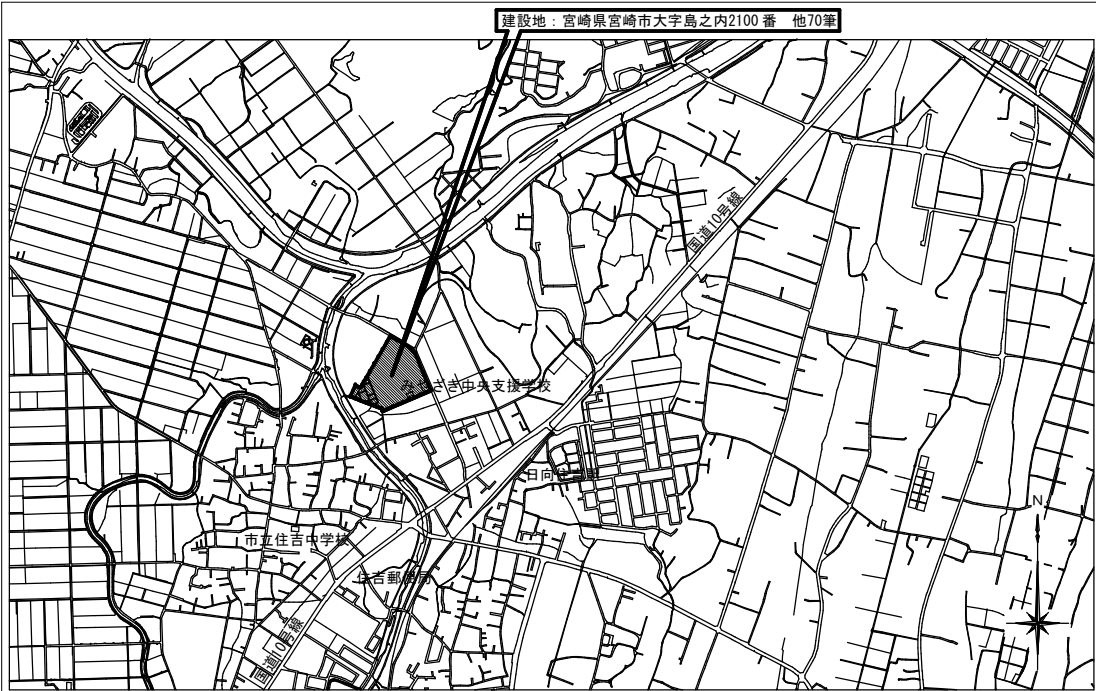
図面名称

建築工事特記仕様書 (その7)

検図

図面番号

A- 07



案内図

■既存建物概要

棟番号	名称	床面積	建築面積	構造	階数	耐火	工事対象
1	教室棟	1,102.00	551.00	RC	2	耐火建築物	
3	寄宿舎	1,317.00	658.50	RC	2	耐火建築物	
4	寄宿舎	624.00	312.00	RC	2	耐火建築物	
6	教室棟	1,791.00	613.00	RC	3	耐火建築物	
7	実習棟	534.00	534.00	S	1	その他	解体予定
8	農業棟	195.76	246.96	S	1	その他	
9	屋内運動場	702.00	702.00	RC	1	準耐火建築物	
10	寄宿舎	600.00	300.00	RC	2	耐火建築物	
11	プール付属棟	39.00	39.00	S	1	その他	
12	教室棟	221.00	221.00	RC	1	耐火建築物	
13	洗濯室	40.00	40.00	RC	1	その他	
14	管理・教室棟	415.00	207.50	RC	2	耐火建築物	
16	ボイラー棟	7.00	7.00	S	1	その他	
18	ゴミ保管庫	12.00	12.00	W	1	その他	
19	便所棟	48.00	48.00	S	1	耐火建築物	
23	管理・教室棟	1,272.00	424.00	RC	3	耐火建築物	
24	管理・教室棟	1,399.00	466.33	RC	3	耐火建築物	
25	パソコン教室	29.00	29.00	S	1	その他	
倉1	倉庫1	18.91	18.91	ﾌﾞﾚ	1	その他	
倉2	倉庫2	5.51	5.51	ﾌﾞﾚ	1	その他	
倉3	倉庫3	8.64	8.64	ﾌﾞﾚ	1	その他	
倉6	倉庫6	6.71	6.71	ﾌﾞﾚ	1	その他	
倉7	倉庫7	建物にあらず (2.89㎡)		OB	1	その他	
倉8	倉庫8	建物にあらず (2.32㎡)		ﾌﾞﾚ	1	その他	
倉9	倉庫9	5.13	5.13	ﾌﾞﾚ	1	その他	
ボ1	ポンプ小屋1	9.18	9.18	RC	1	その他	
ブ1	プロパン庫1	5.00	5.00	ﾌﾞﾚ	1	その他	
ブ2	プロパン庫2	9.66	9.66	RC	1	その他	
自1	自転車置場	5.70	5.70	S	1	その他	
堆肥	堆肥置場	32.09	32.09	S	1	その他	
A	渡り廊下 (吹さらし)		46.96	S	1		
B	渡り廊下 (吹さらし)		40.95	S	1		
C	渡り廊下 (吹さらし)		136.22	S	1		解体 (R7.9) 予定
D	渡り廊下 (吹さらし)		81.89	S	1		解体 (R7.9) 予定
E	渡り廊下 (吹さらし)		48.99	S	1		
F	渡り廊下 (吹さらし)		7.15	S	1		一部解体 (R7.9) 予定
G	渡り廊下 (吹さらし)		28.20	S	1		解体 (R7.9) 予定
H	渡り廊下 (吹さらし)		39.82	S	1		解体 (R7.9) 予定
NP1	渡り廊下 (吹さらし)		40.75	S	1		
	合計	10,454.29	5,988.75				

■施設・敷地概要

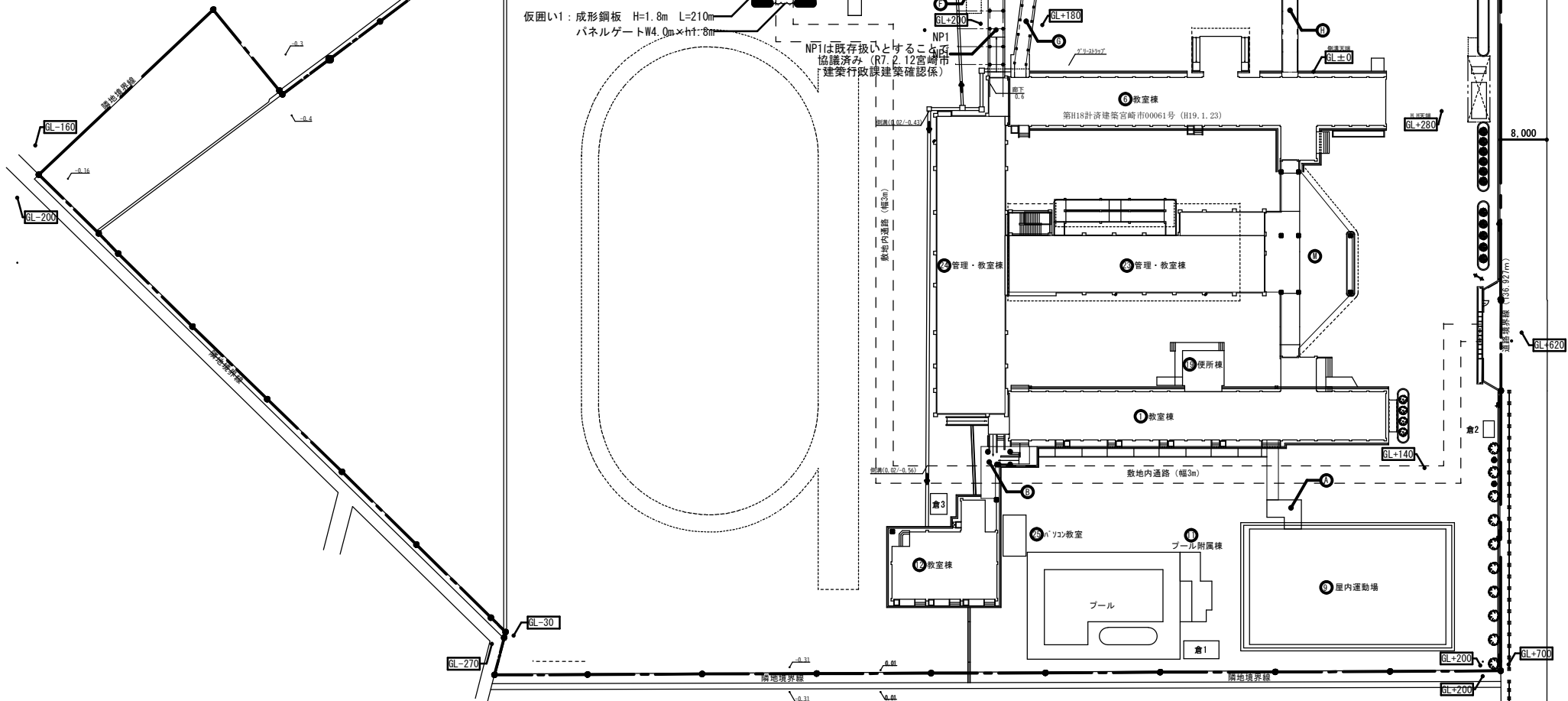
工事名称	みやざき中央支援学校仮設校舎建設工事
申請地	宮崎県宮崎市大字島之内2100番 他70番
区域・用途地域	都市計画区域内 (市街化調整区域) ・ 無指定地域、建ぺい70%、容積200%
防火地域	指定なし
その他の地域	なし
敷地面積	33,660 m ² (⑧農業棟 確認済証：H28年 計認建築宮崎市建00010号 交付時の敷地形状の変更がないことを確認し引用。)
主要用途	(区分 08100) 特別支援学校

■増築建物概要

棟番号	名称	床面積	建築面積	構造	階数	耐火	工事対象
101	仮設校舎	410.68	458.18	S	1	その他	仮設 (R7.5-R9.2)
TP1	渡り廊下 (吹さらし)		40.50	S	1		仮設 (R7.5-R9.2)
TP2	渡り廊下 (吹さらし)		33.28	S	1		仮設 (R7.5-R8.9)
合計		410.68	531.96				

■建築面積・延床面積総合計

	床面積	建築面積
既存建物合計	10,454.29	5,988.75
増築建物合計	410.68	531.96
合計	10,864.97	6,520.71



配置図 S=1/500

※記事

建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計

登 録 番 号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設 計 者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士
野添勝久
管理技術者
野添勝久
設計者
野添義二

工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

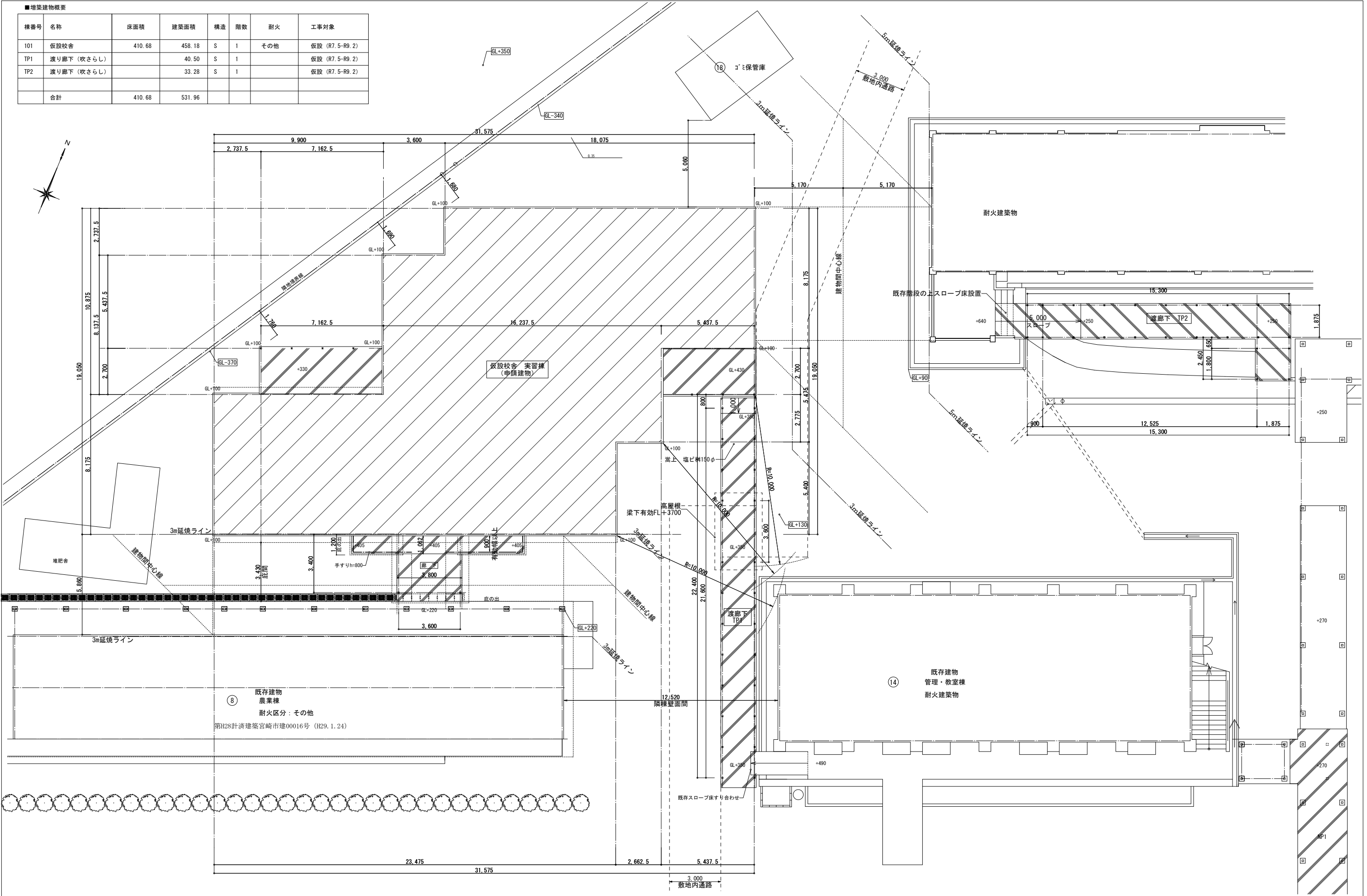
図面名称
案内図、全体配置図、仮設参考図

設計年月
2024.7
A1
縮尺
1/500
1/250

検
図

図面No.

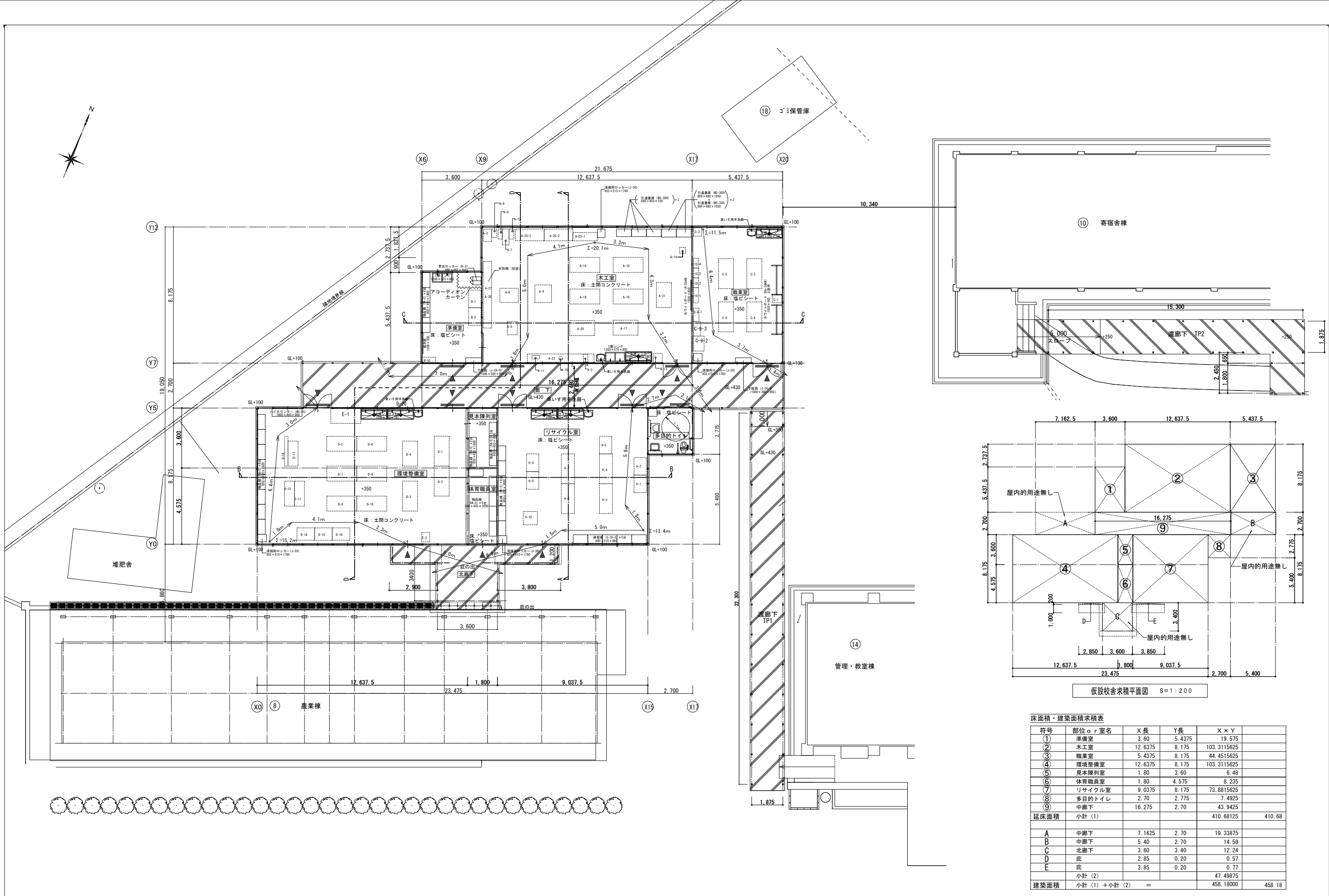
A-09



■増築建物概要							
棟番号	名称	床面積	建築面積	構造	階数	耐火	工事対象
101	仮設校舎	410.68	458.18	S	1	その他	仮設 (R7.5-R9.2)
TP1	渡り廊下 (吹さらし)		40.50	S	1		仮設 (R7.5-R9.2)
TP2	渡り廊下 (吹さらし)		33.28	S	1		仮設 (R7.5-R9.2)
	合計	410.68	531.96				

※記事	建築士事務所名称 <div>有限会社 野 添 設 計</div>		管理建築士	工 事 件 名 <div>高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借</div>	設計年月 <div>2024. 7</div>	検 図		図面No. <div>A-10</div>
			野添勝久					
			管理技術者	図面名称 <div>(仮設校舎) 仮設校舎周辺配置図</div>				
			野添勝久					
登 録 番 号	一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号	設計者	縮尺	A1 A3 1/100 1/200				
設 計 者	野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号	野添義二						

設 計 概 要										内 部 仕 上 表																			
一 般 事 項	工 事 名 称				建 築 場 所				室 名		床		巾 木		腰		壁		天 井		CLH		備 考						
	工 事 種 別				主 要 用 途				一 階																				
	地 域 指 定				建ペイ・容積率				準備室		長尺塩ビシートt=2.0 下地：コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		カラー合板t=2.5 (天井パネル式)		3045		カーテン アコーデ'イオン カーテン								
	防 火 指 定								木工室		コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		化粧石膏ボードt=9.5 (軽鉄下地)		3100		カーテン								
建 物 概 要	規 模	階 数				最高の軒の高さ				職業室		長尺塩ビシートt=2.0 下地：コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		カラー合板t=2.5 (天井パネル式)		3045		カーテン							
		建 築 面 積								環境整備室		コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		カラー合板t=2.5 (天井パネル式)		3045		カーテン							
		床 面 積								見本陳列室		コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		カラー合板t=2.5 (天井パネル式)		3045		カーテン							
										体育職員室		長尺塩ビシートt=2.0 下地：コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		カラー合板t=2.5 (天井パネル式)		3045									
										リサイクル室		長尺塩ビシートt=2.0 下地：コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		カラー合板t=2.5 (天井パネル式)		3045		カーテン							
										多目的トイレ		長尺塩ビシートt=2.0 下地：コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		化粧石膏ボードt=9.5 (軽鉄下地)		3000									
構 造 概 要	基 礎 型 式		鉄筋コンクリート布基礎		地 耐 力		50 KN/m ² (5 t/m ²) 長期、 <u>仮定値</u> 、実値		廊 下		コンクリート金ゴテ押エ		雑巾摺 12x42		内壁：0Sパネル表し 間仕切壁：0Sパネル表し		鉄骨見エ掛り部分FE塗装		3000										
	軸 組		軽量鉄骨ブレース構造 (LSA0S型同等品以上)		積 雪 量		15 cm :短期 300 N/m ²																						
	一階床		床) 土間コンクリート t=120		耐 火 ・ 防 火		その他																						
			ワイヤーメッシュ6.0Φ×150×150		内 壁		OSパネル表し																						
内 部 軸 組	二階床	防湿ポリフィルムt=0.15・砕石t=100・盛土t=130		間 仕 切		OSパネル：外側・内側) カラー鉄板 t=0.27																							
		床) 土間コンクリート t=150：木工室		(パネル式部)		内部) ウレタンフォーム t=40																							
		土間配筋：D13 @200 シングル		間 仕 切																									
		防湿ポリフィルムt=0.15・砕石t=100・盛土t=100																											
		なし		天 井		天井パネル式 (カラー合板=2.5)																							
						天井裏断熱材：グラスウール t=50(16kg品)敷込																							
外 部 仕 上	屋 根	ガルバリウム鋼板 t=0.6 折板葺 (山高=131)		外 壁		OSパネル： 外側) カラー鉄板 t=0.27																							
		裏面：発砲ポリエチレンフォーム t=4 貼				内部) ウレタンフォーム t=40																							
		ナシ (ルーフデッキ表ワシ)				内側) カラー鉄板 t=0.27																							
外 部 建 具	符 号	仕 様		硝 子		寸 法		符 号	仕 様		硝 子		寸 法																
	AD-1	アルミサッシ引違い戸		上部) 強化透明=4 下部) アルミ貼ハネ		1677.4×1990.5		AW-1	アルミサッシ引違い窓		強化透明 t=4		1677.4x1274.5 (下部)																
	AD-2	アルミサッシ大型引込ミ戸		上部) 強化透明=4 下部) アルミ貼ハネ		1135.5×1973.5		AW-1	アルミサッシ引違い窓		強化透明 t=4		1677.5x359.5 (上部)																
	AD-3	アルミサッシ両開き戸		上部) 強化透明=4 下部) アルミ貼ハネ		1658 x1990.5																							
	(注) アルミ製引違い意はすべての窓サッシに転落防止対策を行なう事。																												
渡り廊下	屋 根	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 折板葺 (山高=88) キャップ式																											
	床	コンクリート金ゴテ押エ t=120 ワイヤーメッシュ6.0Φ×150×150 防湿ピリフィルム t=0.15 砕石 t=100																											
樋	樋	軒樋： 塩ビ角樋 U120, 堅樋： 塩ビ製 (VU) 75φ																											
鋳	板 金 金 物	土台水切： カラー鉄板 t=0.35																											
塗 装	鉄部： 錆止塗装 J I S - K 5 6 2 1 (Ⅱ種) 1回工場塗 見え掛り F E 1回塗工場塗																												
雑 工 事	踏段： 土間コンクリート打同時押エ																												
備 品	窓にカーテン・カーテンレール																												
設 備	電 気	-		冷 暖 房		-		注意事項		特記事項		床用接着剤 F☆☆☆☆		●フタル酸樹脂エナメル塗 (F E) F☆☆☆☆		認定番号		○珪酸カルシウム板 t=4~12 不燃 NM-8578 ○石膏ボード t=9.5 準不燃 QM-9823											
	給 水	-		消 防		-		電気事業法によって施工する。		シックハウス		○壁紙施工用でんぶん系接着剤 F☆☆☆☆		○塩化ビニール樹脂ペイント塗 (V P) F☆☆☆☆		○石膏ボード t=12.5 不燃 NM-8619 ○化粧石膏ボード t=9.5 準不燃 QM-9824													
	排 水	-				-		水道法施行令第5条に基づき施工する。		認定区分		●ビニルクロス F☆☆☆☆		○合成樹脂エマルジョンペイント (E P) F☆☆☆☆		○シーリング石膏ボード t=12.5 不燃 NM-8639 ○ビニルクロス (2級品) 準不燃 QM-9412													
	瓦 斯	-		換 気		-		配管設備は、建築基準法施行令第129条の2の5に基づき施工する。				○無機質壁紙 F☆☆☆☆		○合成樹脂調合ペイント塗 (S O P) F☆☆☆☆		○不燃ジブトン t=9.5 不燃 NM-8613													
								下水道法第10条第1項及び第3項に基づき施工する。				○カラー合板 t=2.5 F☆☆☆☆		○建具・建具枠 F☆☆☆☆		○強化石膏ボード t=15.0 不燃 NM-8615													
										給湯設備は、H12建告第138号に基づき施工する。										○耐火界壁： P・B t=12.5+12.5 両面貼 (建告第1380号)									
																				○遮音界壁： P・B t=12.5+12.5 両面貼 (建告第1827号)									
																				○準耐火構造の界壁： t=9.5+12.5 両面貼 (建告第1358号)									
																				※ P・B は、石膏ボードを示す。									

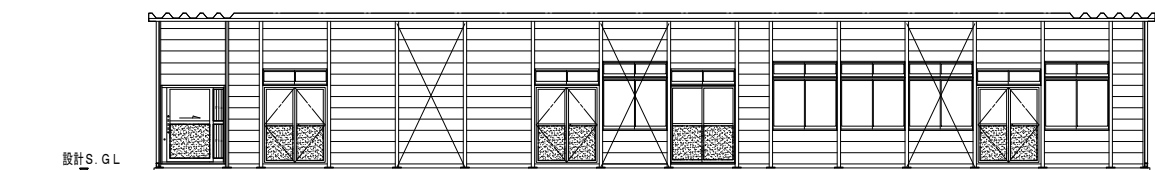


※記事					管理建築士 野添勝久		工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	図面No. A-12
	建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計				管理技術者 野添勝久			
	登 録 番 号		一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号		設計者 野添義二		図面名称 (仮設校舎) 平面図	図面No. A-12
	設 計 者		野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号		野添義二			
								図面No. A-12

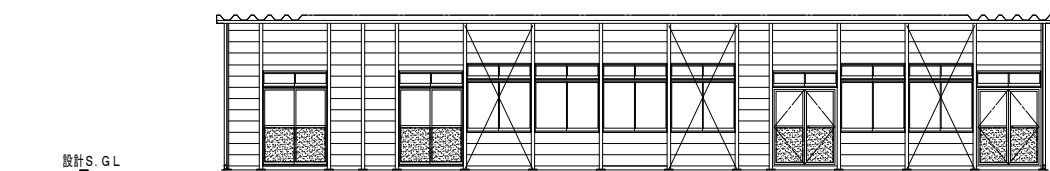


採光補正係数 $=D/H \times 10^{-1}$
 $=3.43/2.44 \times 10^{-1}$
 $=13.06 > 3$

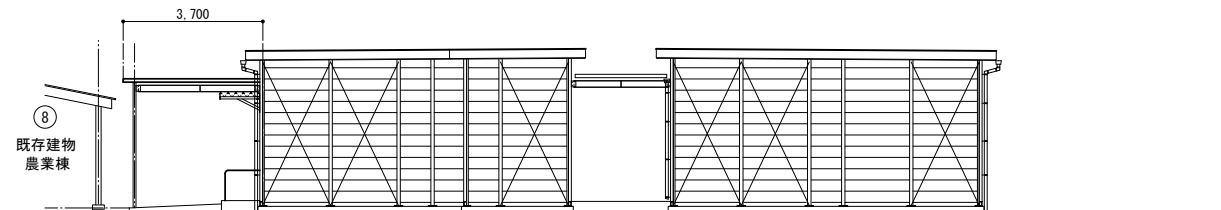
Y0 立面図 S=1:100



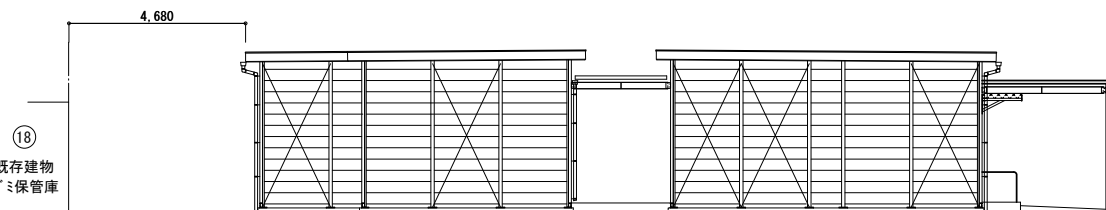
Y5 立面図 S=1:100



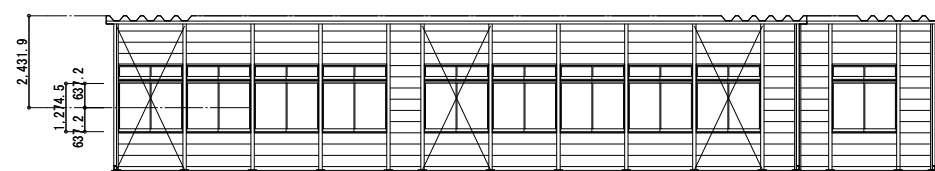
Y7 立面図 S=1:100



X0 立面図 S=1:100

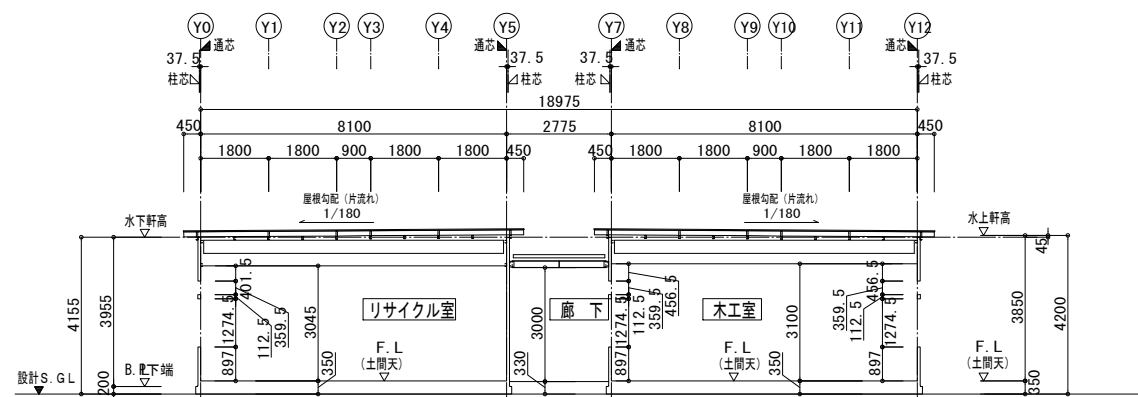


X2 立面図 S=1:100

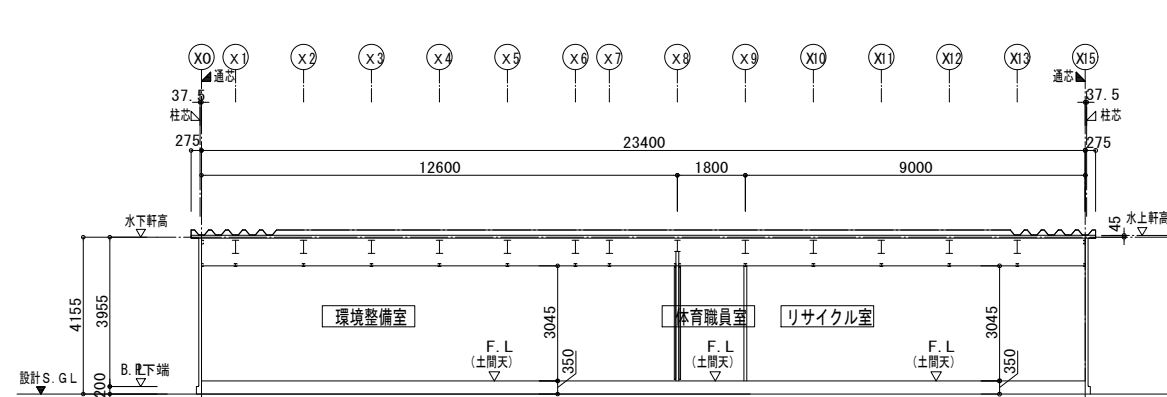


採光補正係数 $=D/H \times 10^{-1}$
 $=4.68/2.44 \times 10^{-1}$
 $=18.18 > 3$

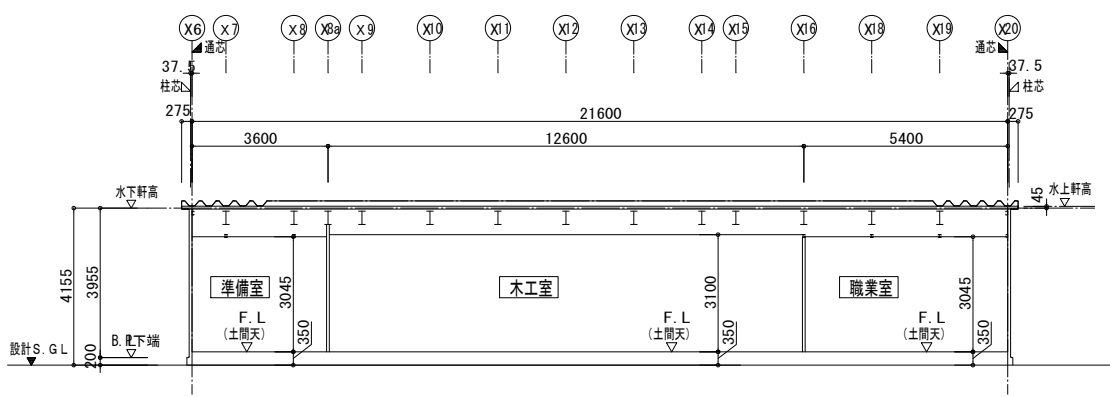
Y12 立面図 S=1:100



A-A 断面図 S=1:100



B-B 断面図 S=1:100



C-C 断面図 S=1:100

※記事

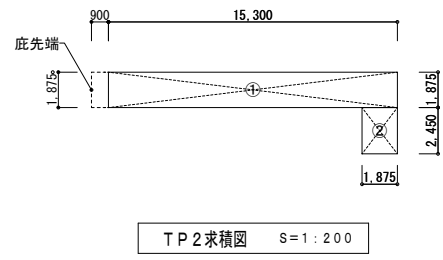
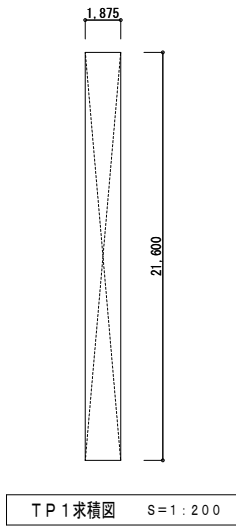
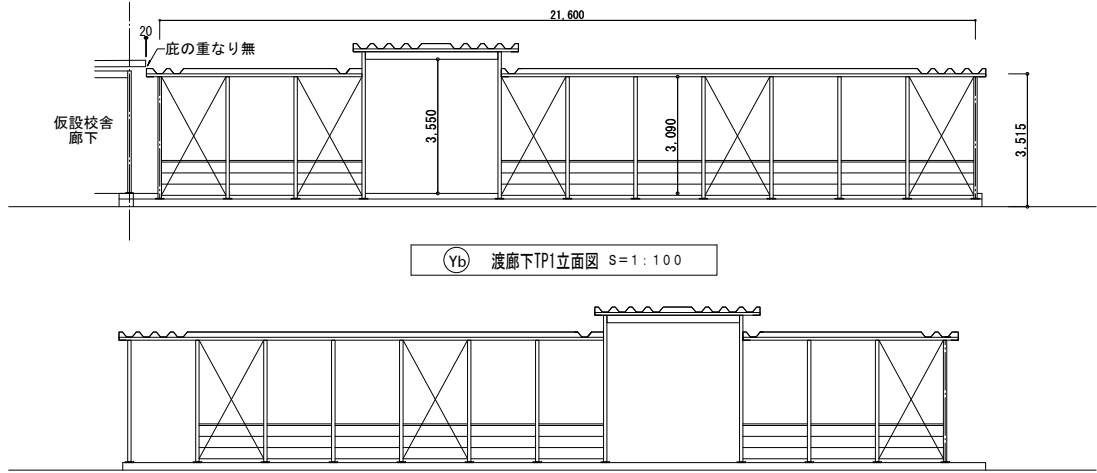
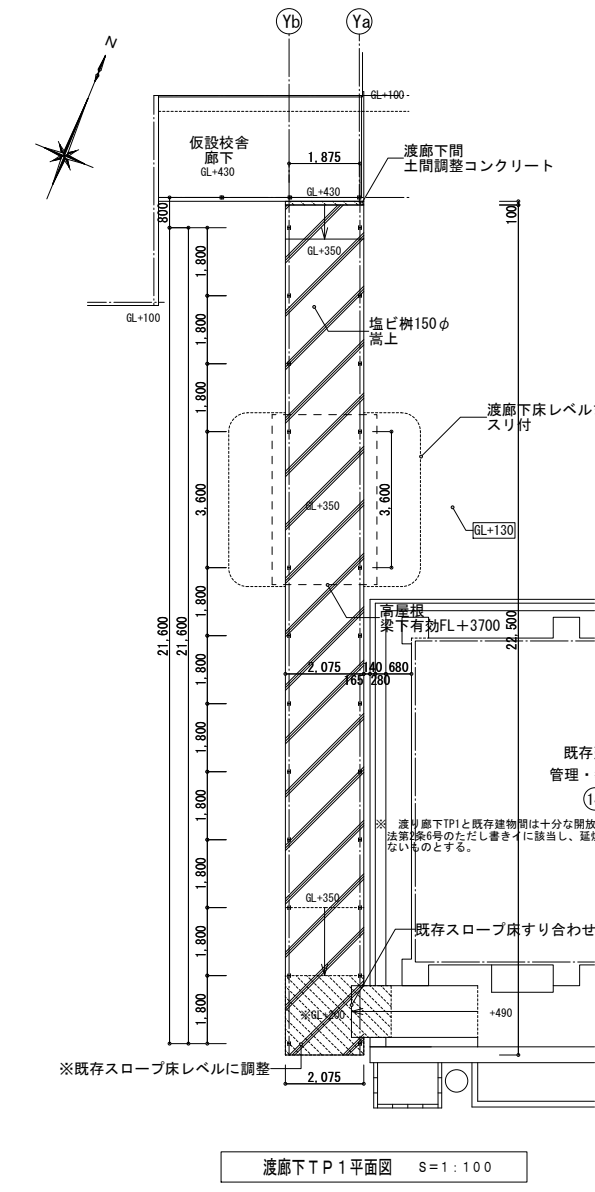
建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計
登 録 番 号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設 計 者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士 野添勝久
管理技術者 野添勝久
設計者 野添義二
工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
図面名称 (仮設校舎) 立面図・断面図

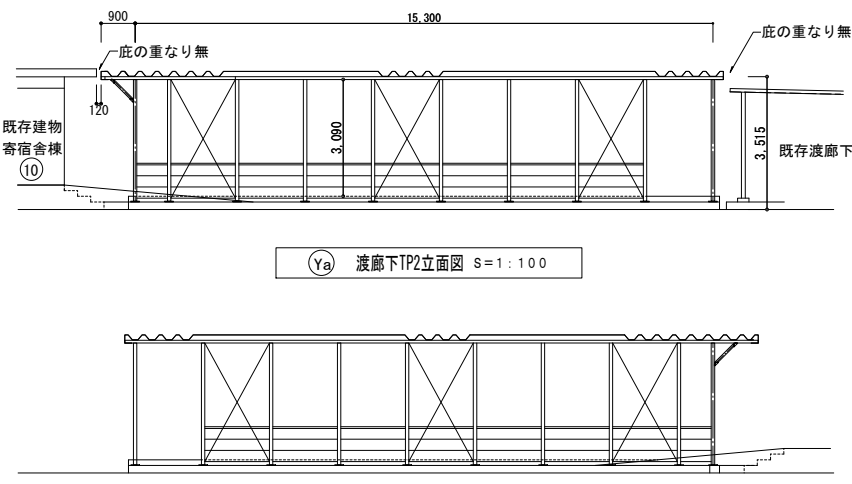
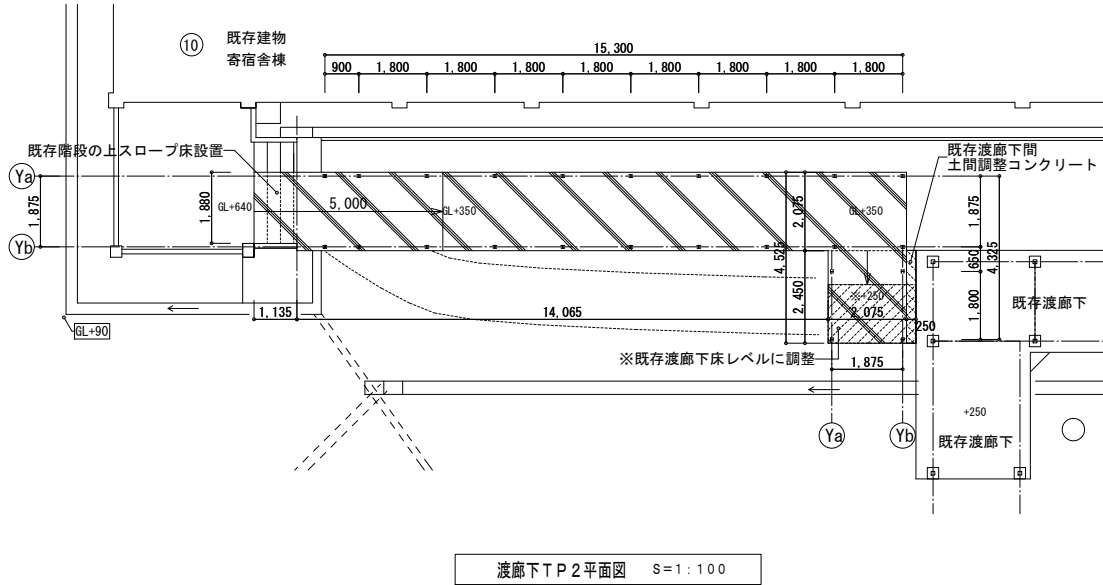
図面No. A-13
2024. 7
A1 1/100
A3 1/200



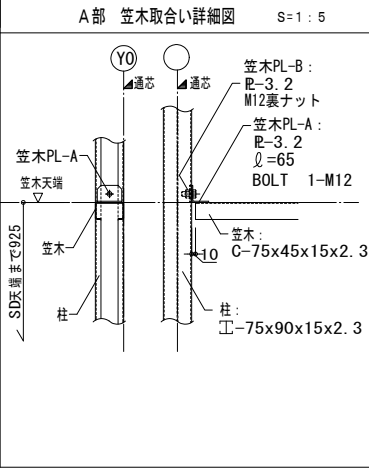
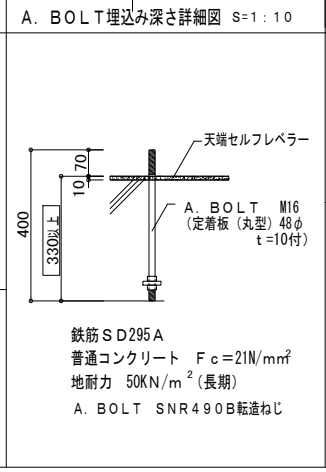
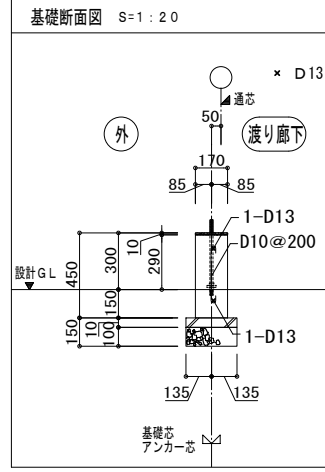
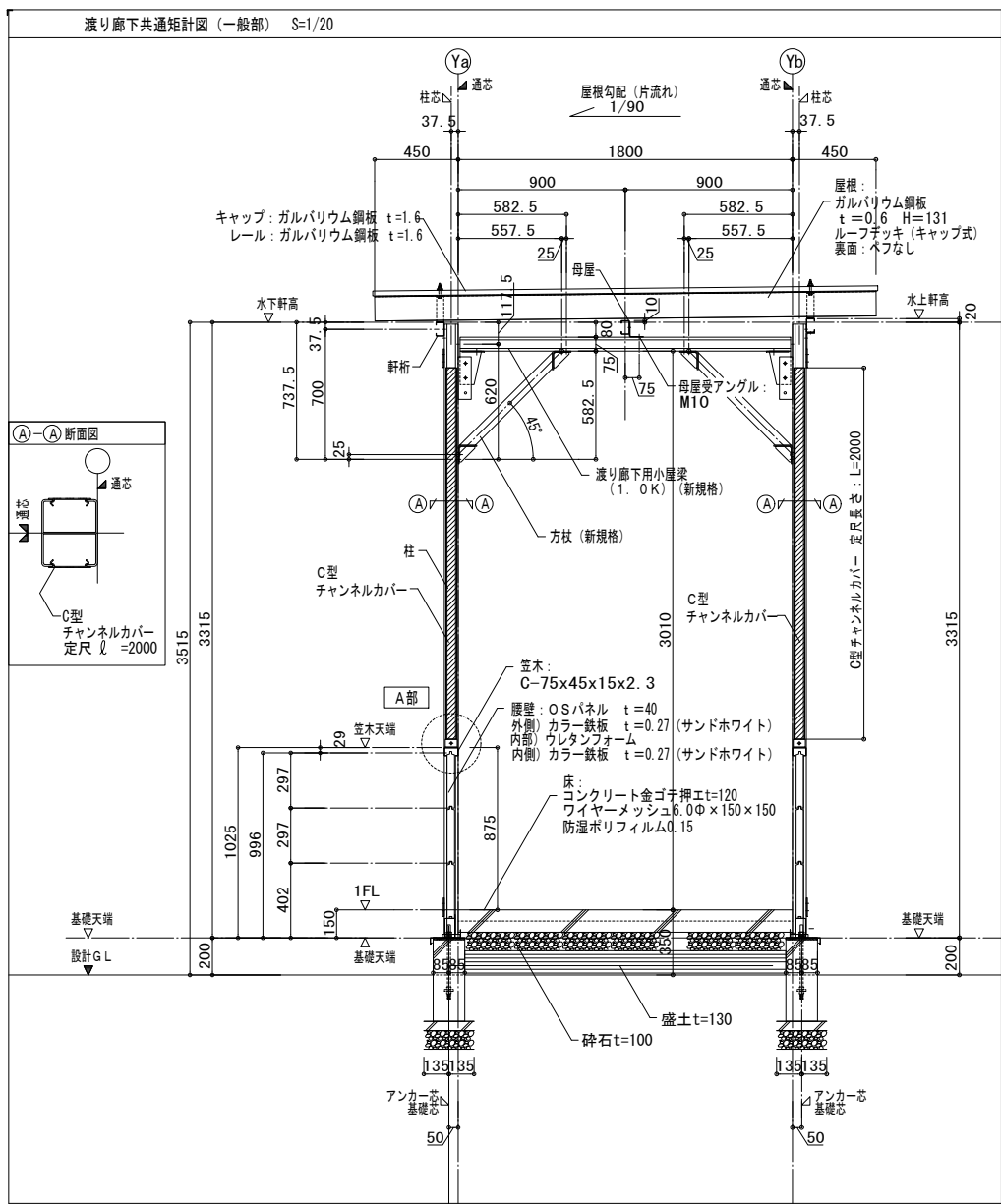
※記事	建築士事務所名称	有限会社 野 添 設 計	管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月 2027.7	棟 図	図面No. A-15
	登 録 番 号	一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号	管理技術者 野添勝久				
	設 計 者	野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号	図面名称 (仮設校舎) 仮設校舎断面詳細図	設計者 野添義二	縮尺 A1 1/20 A3 1/40		



TP1建築面積： 1.875×21.60=40.50㎡
TP2建築面積： ① 15.30×1.875=28.6875
② 1.875×2.45=4.59375 合計 33.28125㎡



Yb 渡廊下TP2立面図 S=1:100



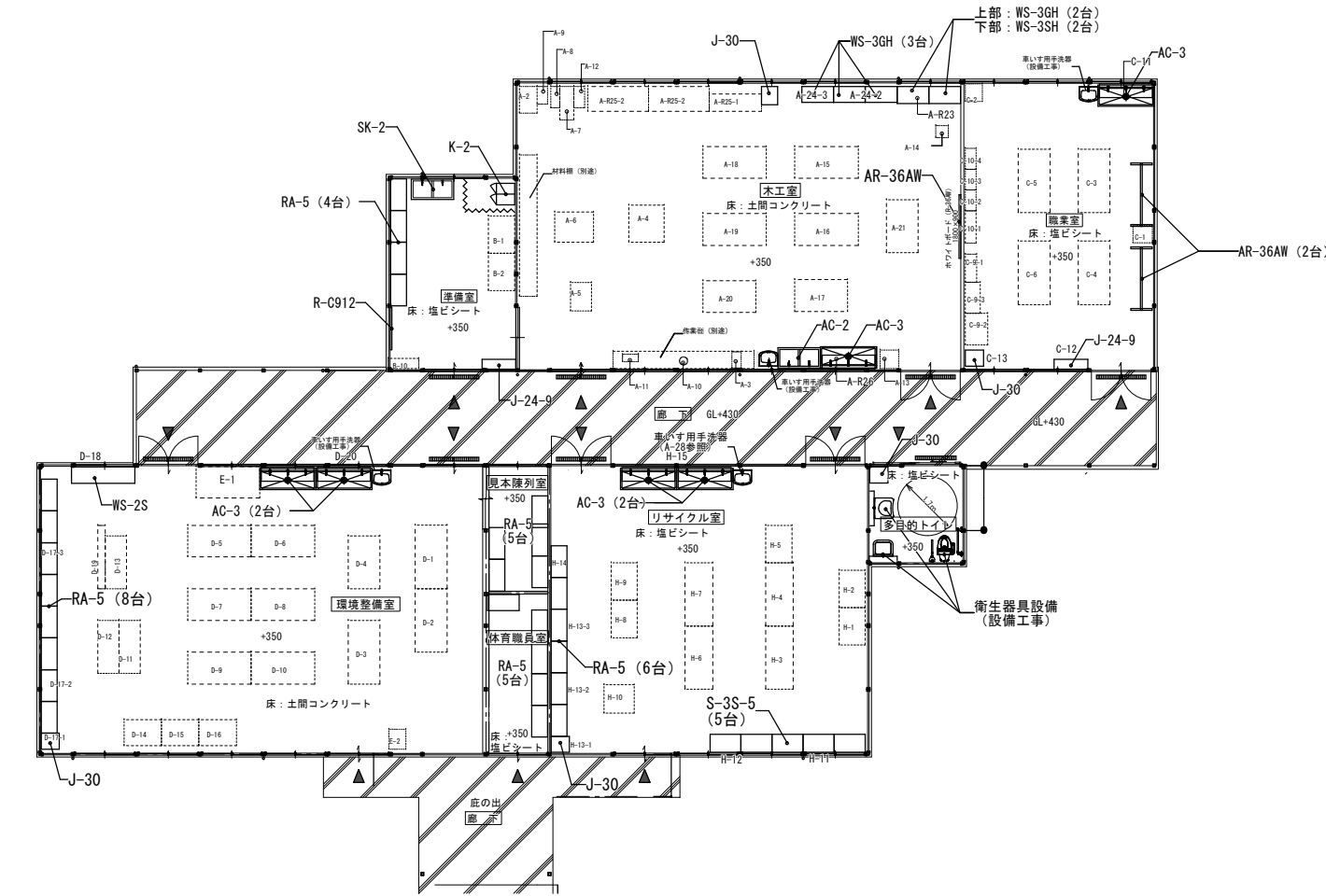
※記事 ・渡り廊下の基礎及び柱脚については構造計算により安全性を確認済みである。	建築士事務所名 有限会社 野 添 設 計		管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月 2027.7	検 図	図面No. A-16
	登録番号 野添勝久	一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号					
	設計者 野添義二	一級建築士大臣登録 第253725号	設計者 野添義二	図面名称 (仮設校舎) 渡廊下平面図、立面図、求積図、矩計図、部分詳細図	縮尺 A 1/5, 1/10, 1/20 B 1/100, 1/200 C 1/10, 1/20, 1/40 D 1/200, 1/400		

備品リスト（北棟）

室名	符号	品名	寸法	全数	既存を利用 (取り外し及び移設 取付手間は本工事)	請負者で準備 (リース)	備考
準備室	K-2	更衣ロッカー（2人用）	W608xD515xH1790	1		○	
	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	4		○	
	R-C912	掲示板	W1200xH900	1		○	
	AC-2	2槽式シンク	W1100xD600xH1020	1		○	
	J-24-9	下駄箱（9人用）	W1006xD300xH850	1		○	
木工室	WS-3SH	引違い書庫（スチール戸）	W899xD450～480xH1050～1110	2		○	
	WS-3GH	引違い書庫（ガラス戸）	W899xD450～480xH1050～1110	5		○	
	J-30	掃除用ロッカー（J-30）	W455xD515xH1790	1		○	
	AC-2	2槽式シンク	W1100xD600xH1020	1		○	
	AC-3	全槽シンク	W1600xD600xH1020	1		○	
	R-36AW	無地白板	W1800xH900	1		○	
職業室	J-30	掃除用ロッカー（J-30）	W455xD515xH1790	1		○	
	J-24-9	下駄箱（9人用）	W900xD330xH900	1		○	
	AR-36AW	両面回転移動白板（無地/無地）	W1800xH900	2		○	
	AC-3	全槽シンク	W1600xD600xH1020	1		○	

備品リスト（南棟）

室名	符号	品名	寸法	全数	既存を利用 (取り外し及び移設 取付手間は本工事)	請負者で準備 (リース)	備考
環境整備室	WS-2S	ハイカウンター	W1800xD460～600xH900～950	1		○	
	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	8		○	
	J-30	掃除用ロッカー（J-30）	W455xD515xH1790	1		○	
	AC-3	全槽シンク	W1600xD600xH1020	2		○	
	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	5		○	
見本陳列室							
体育職員室	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	5		○	
リサイクル室	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	6		○	
	AC-3	全槽シンク	W1600xD600xH1020	2		○	
	S-3S-5	保管庫（スチール戸）	W880xD515xH880	5		○	
	J-30	掃除用ロッカー（J-30）	W455xD515xH1790	2		○	
多目的トイレ	J-30	掃除用ロッカー（J-30）	W455xD515xH1790	1		○	



仮設校舎備品キープラン S=1:100

準備室既存備品リスト ※下記表中の備品移設、保管は別途工事とする。

種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H
移設備品	B-1	机1			1060	740	740
移設備品	B-2	机2			1060	740	740
保管	B-3	机3			1060	740	740
	B-4	棚1			3600	400	870
	B-5	棚2			2270	500	700
リース代替	B-6	手洗い場	大研ぎ		1370	510	1090
	B-7	木製ドア			1820	500	2000
リース代替	B-8	3層製平定箱			900	300	880
	B-9	木製棚			1420	520	2750
移設備品	B-10	木製収納棚			860	300	1090

木工室既存備品リスト ※下記表中の備品移設は別途工事とする。

種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H
移設備品	A-1	書庫壁	B立CB-75F		159415	600	1550
移設備品	A-2	角のみ壁	MH-30 0.75kW 2P	159417	500	750	1500
移設備品	A-3	ボール壁	日立B13SH	159469	550	750	1000
移設備品	A-4	自動一面かな壁		233693	1000	1050	1100
移設備品	A-5	丸壁	マキタLS-1213	234760	600	1000	610-600
移設備品	A-6	丸壁	SB-400型 常盤工業製	254889	850	1100	850
移設備品	A-7	糸壁	AS-700型 堀工機製	254890	850	400	1400
移設備品	A-8	糸壁	TF-50		250	600	450
移設備品	A-9	グラインダ	淀川電機 125m/m		500	300	330
移設備品	A-10	ルータ	マキタ3600HA		550	400	420
移設備品	A-11	ベルトディスクサンダ	RYOB1 B0S-1010		230	650	650
移設備品	A-12	卓上糸鋸盤	RYOB1 TFE-450		300	600	350
移設備品	A-13	冷凍機	日立MH-70H		600	600	900
移設備品	A-14	集じん機	RYOB1 VCI200		350	350	520
移設備品	A-15	工作台	(木製)		1800	900	750
移設備品	A-16	工作台		159824	1800	900	760
移設備品	A-17	工作台	オガタ製木製		1500	900	700
移設備品	A-18	工作台	(木製)		1800	900	750
移設備品	A-19	工作台	(木製)		1800	900	750
移設備品	A-20	工作台	オガタ製木製		1500	900	700
移設備品	A-21	工作台	(木製)		1500	900	630
別途	A-22	棚1			4900	500	300
リース代替	A-23	棚2			2000	500	1700
リース代替	A-24	棚3(掃除機大)			480	530	2000
リース代替	A-24-2	棚3(下部)			3610	440	860
リース代替	A-24-3	棚3(上部)			1800	480	1030
移設備品	A-25-1	棚4			1480	490	1560
移設備品	A-25-2	棚5			1720	700	1520
移設備品	A-25-2	棚5			1720	700	1520
リース代替	A-26	手洗い場(SUS)			1200	700	820
別途	A-27	材料棚1			2400	1000	3000
別途	A-28	材料棚2			1000	1000	2500

職業室既存備品リスト ※下記表中の備品移設、保管は別途工事とする。

種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H
移設備品	C-1	壁付型70リットル	EPSON EB-685WT	398825	500	550	350
移設備品	C-2	冷蔵庫SHARP			480	500	1160
移設備品	C-3	机1			1800	900	700
移設備品	C-4	机2			1800	900	700
移設備品	C-5	机3			1800	900	700
移設備品	C-6	机4			1800	900	700
保管	C-7	机5			1800	900	700
保管	C-8	机6			1770	870	720
移設備品	C-9-1	棚1			800	320	1800
移設備品	C-9-2				900	630	1800
移設備品	C-9-3				880	420	1790
移設備品	C-10-1	棚2			910	300	1800
移設備品	C-10-2				590	300	1800
移設備品	C-10-3				590	300	1800
移設備品	C-10-4				590	300	1800
リース代替	C-11	手洗い場(SUS)			2500	750	940
リース代替	C-12	木製平定箱			900	300	830
リース代替	C-13	木製掃除機大			600	600	2000

環境整備室既存備品リスト ※下記表中の備品移設は別途工事とする。

種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H
移設備品	D-1	作業机1			1800	900	700
移設備品	D-2	作業机2			1800	900	700
移設備品	D-3	工作台1			1800	900	700
移設備品	D-4	工作台2			1500	900	650
移設備品	D-5	工作台3			1800	890	760
移設備品	D-6	作業机3			1800	890	760
移設備品	D-7	工作台4			1800	900	750
移設備品	D-8	工作台5			159090	1800	900
移設備品	D-9	工作台6			159091	1800	900
移設備品	D-10	工作台7			1800	900	750
移設備品	D-11	実験・実習用机	生使用		1500	600	770
移設備品	D-12	実験・実習用机	生使用		1500	600	770
移設備品	D-13	実験・実習用机	生使用		1500	600	760
移設備品	D-14	机1			1060	740	750
移設備品	D-15	机2			1060	740	750
移設備品	D-16	机3			1060	740	750
リース代替	D-17	棚1(掃除機大)			500	480	2000
リース代替	D-17-2	棚1			3500	480	2000
リース代替	D-18	棚2			3500	480	2000
リース代替	D-18-2	棚2			2220	400	850
リース代替	D-19	吊り棚			1790	210	2130
リース代替	D-20	手洗い場	大研ぎ		3600	500	800
リース代替	D-21	黒板			1800		900
リース代替	D-22	材料棚			1800		900
リース代替	D-23	掲示板					

見本陳列室既存備品リスト

種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H
リース代替	E-1	棚1					
リース代替	E-2	棚2					
リース代替	E-3	棚2					

体育職員室既存備品リスト

種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H
リース代替	F-1	棚1					
リース代替	F-2	棚2					
リース代替	F-3	机1					
リース代替	F-4	机2					

リサイクル室既存備品リスト ※下記表中の備品移設は別途工事とする。

種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H
移設備品	H-1	机1			1060	740	740
移設備品	H-2	机2			1060	740	740
移設備品	H-3	工作台1			1790	780	720
移設備品	H-4	工作台2			1790	780	720
移設備品	H-5	机3			1060	740	740
移設備品	H-6	工作台3			1790	790	720
移設備品	H-7	工作台4			1790	790	720
移設備品	H-8	机4			1060	740	740
移設備品	H-9	机5			1060	740	740
移設備品	H-10	機機		396592	850	800	1030
リース代替	H-11	棚1			2200	490	860
リース代替	H-12	棚2			2820	490	850
リース代替	H-13	棚3(掃除機大)			500	500	2000
リース代替	H-13-2	棚3			1830	500	2000
リース代替	H-13-3	棚3			1830	500	2000
リース代替	H-14	棚4			2540	490	2000
リース代替	H-15	手洗場			2800	600	750

※記事

建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計

登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号

設計者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士

野添勝久

管理技術者

野添勝久

設計者

野添義二

工事件名

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

図面名称

(仮設校舎) 備品リスト

図面No.

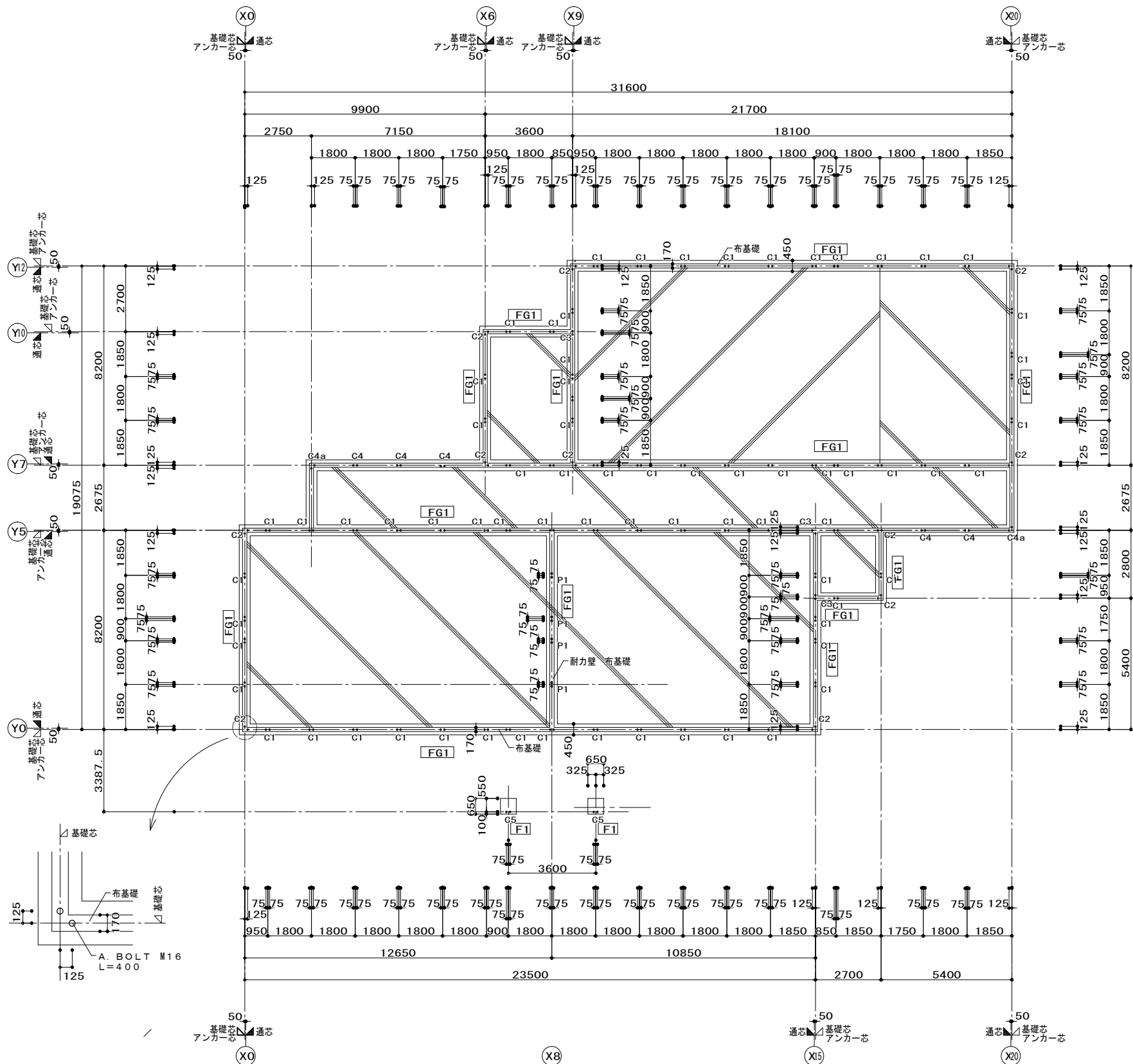
2024. 7

A1

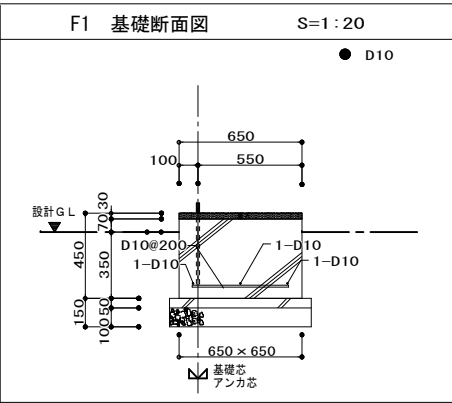
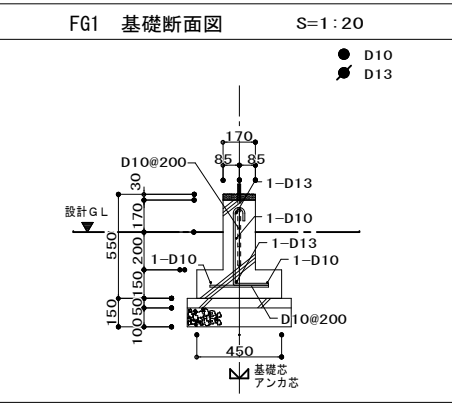
No. Scale

No. Scale

A-17



基礎伏図 S=1:100



アンカーボルト図 S=1:10	
P1 (耐力壁 基礎部分)	C1・C2・C3・C4・C4a・C5
A. BOLT M20 L=500 (SNR490B)	A. BOLT M16 L=400 (SNR490B)
定着板:60φ t=13	定着板:48φ t=10

使用材料	
■基礎・基礎梁・土間・スラブ 普通コンクリート 設計基準強度 $F_c=21\text{N/mm}^2$ 調合管理強度: F_c+mSn (構造体強度補正值) ※ mSn (構造体強度補正值) は施工時期によって決定する事。	
■捨てコンクリート 設計基準強度 $F_c=18\text{N/mm}^2$	
■所要スランプ 15cm	
■異形鉄筋 SD295 D16以下(重ね継手)	
設計地耐力	
■長期 50kN/m^2 ■短期 100kN/m^2	

※記事

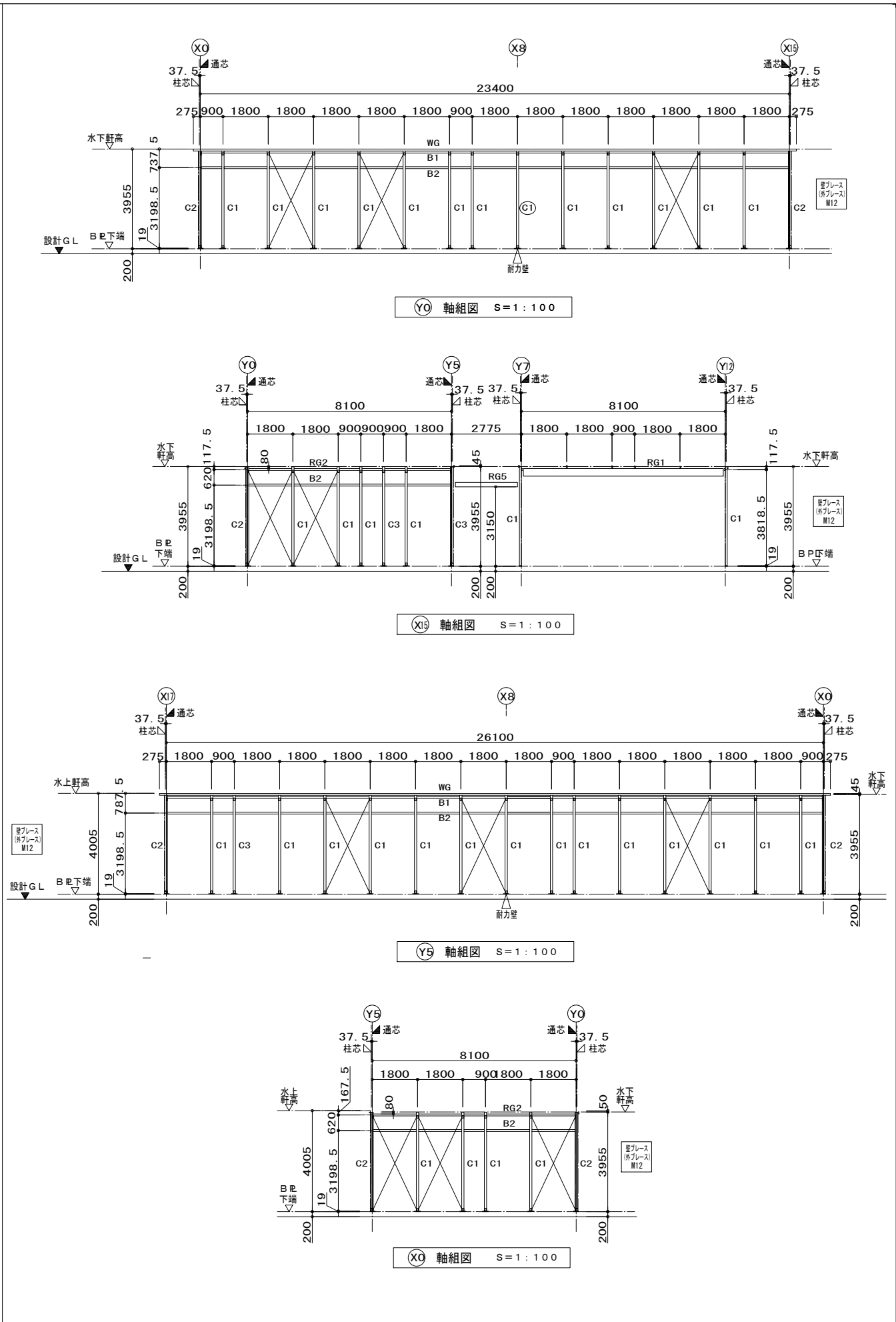
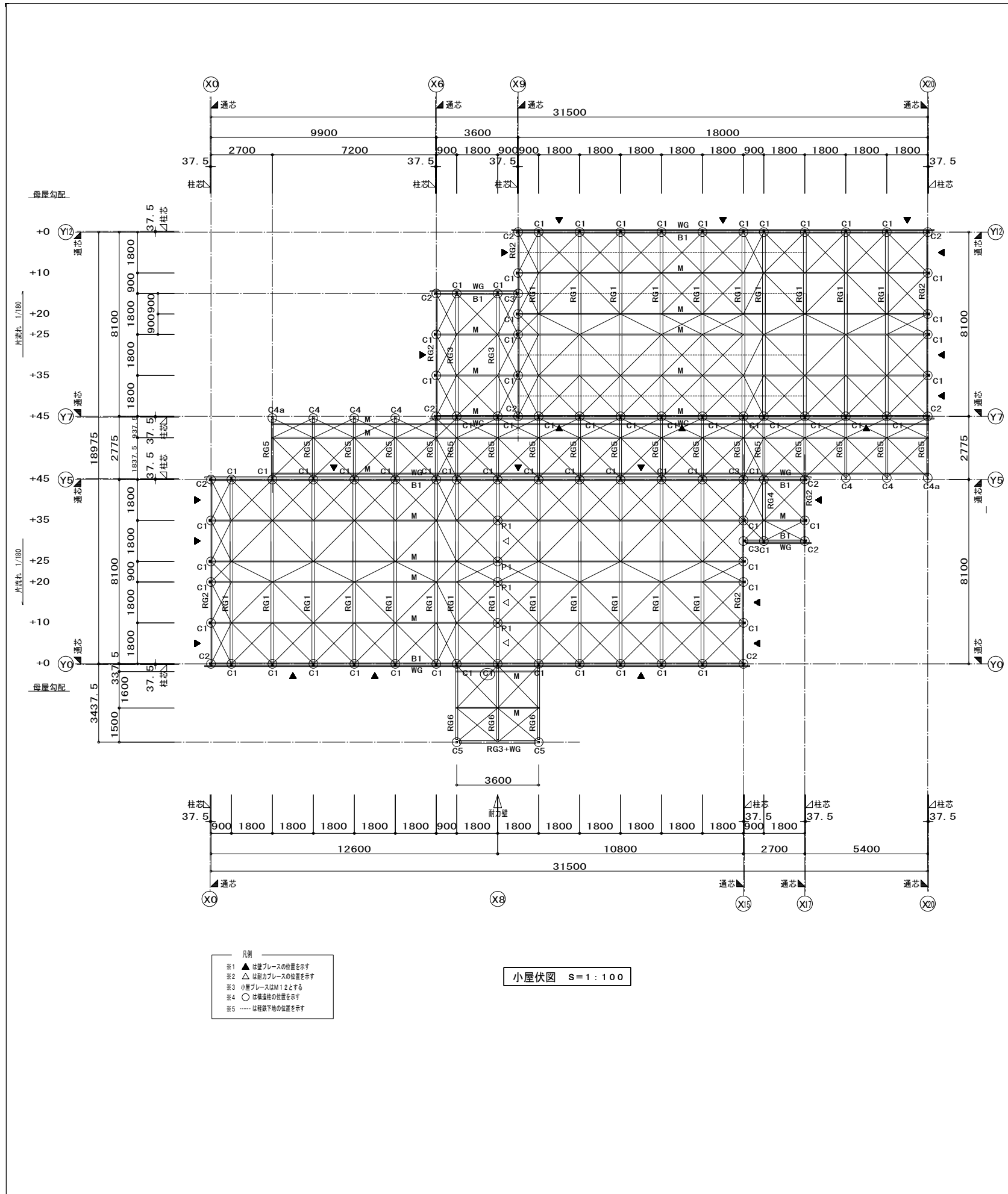
建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計

登 録 番 号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設 計 者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

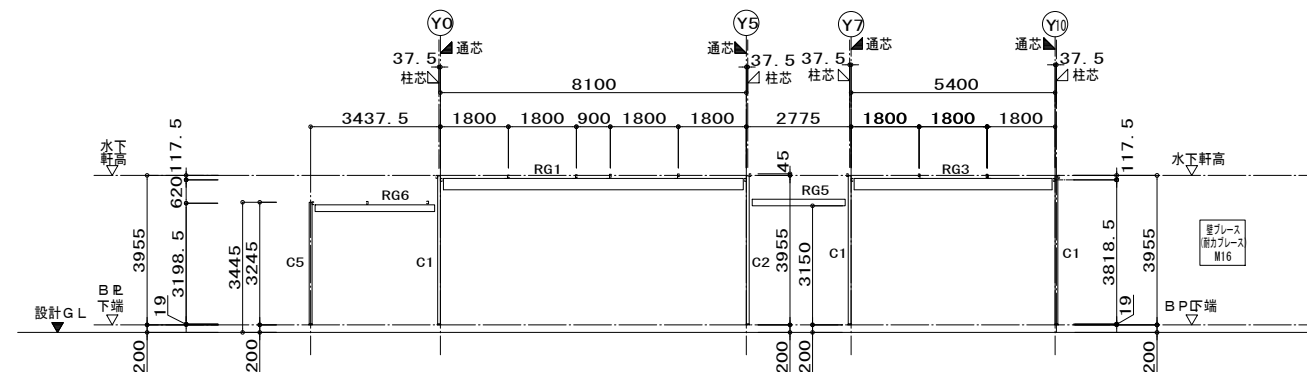
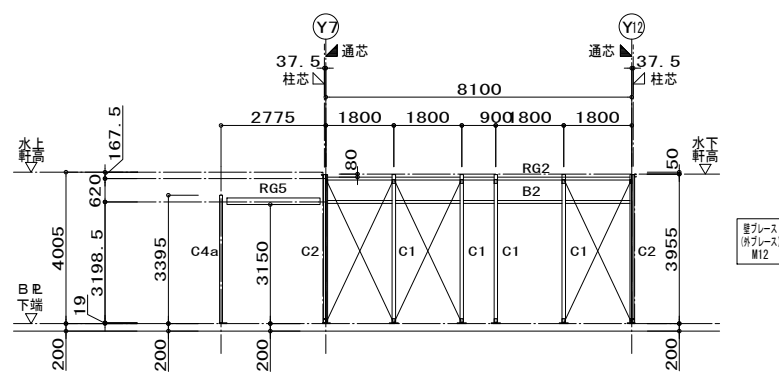
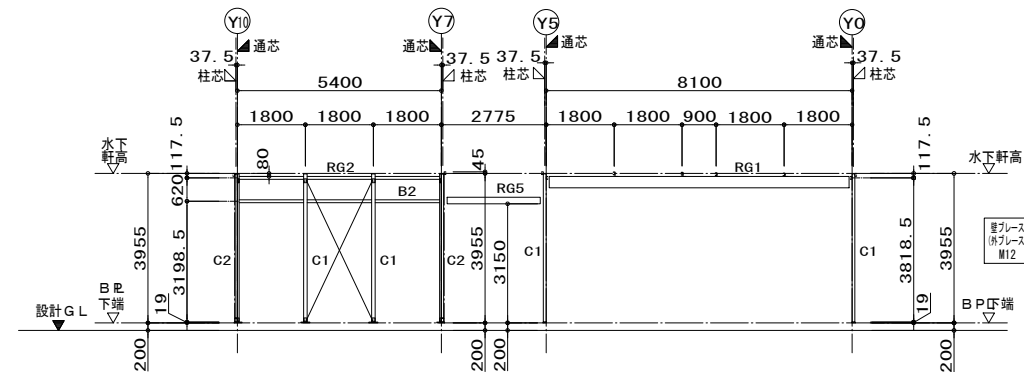
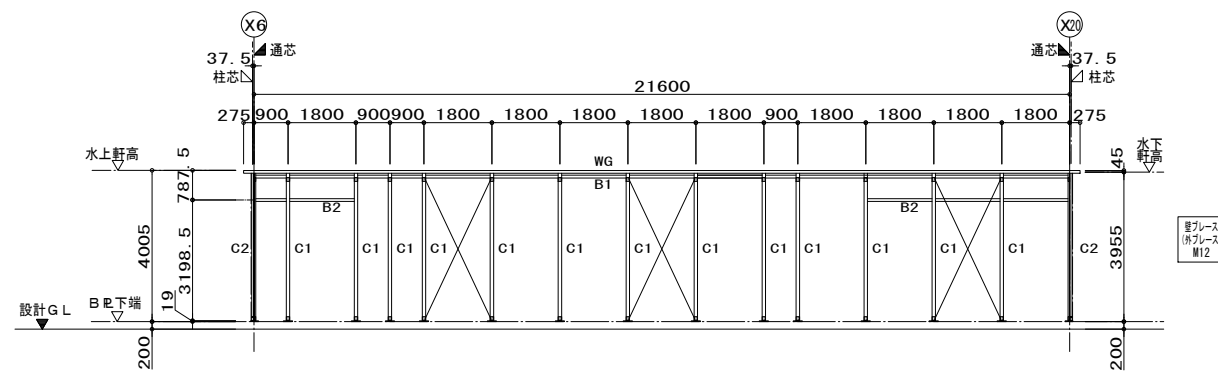
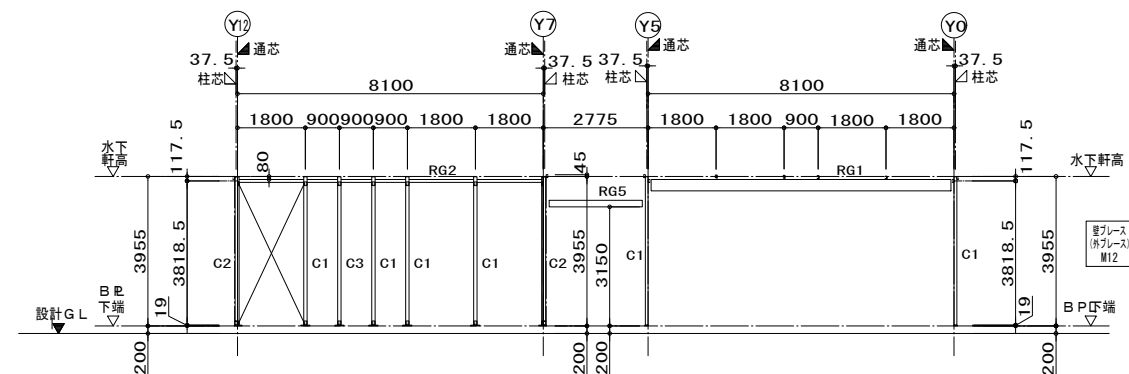
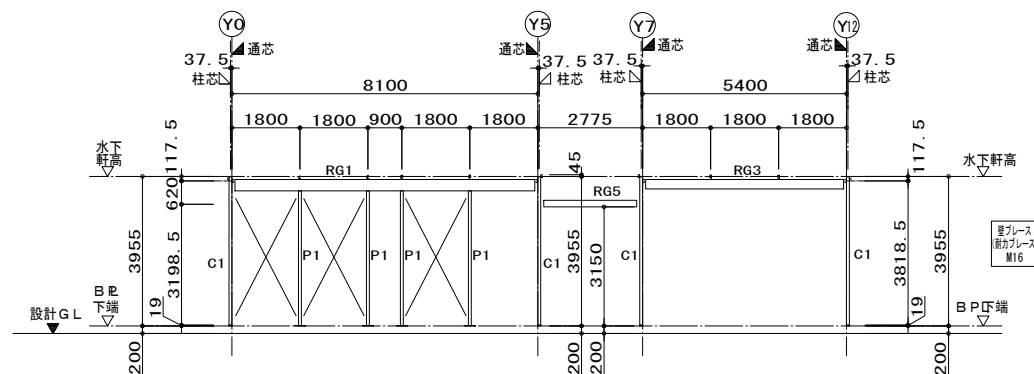
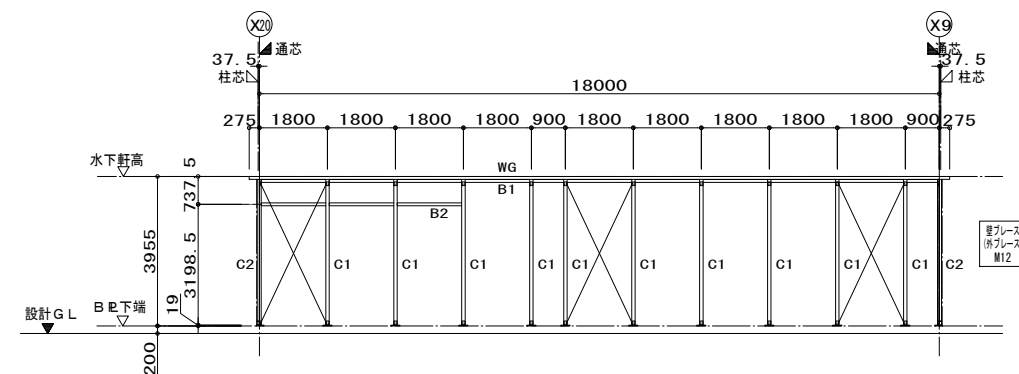
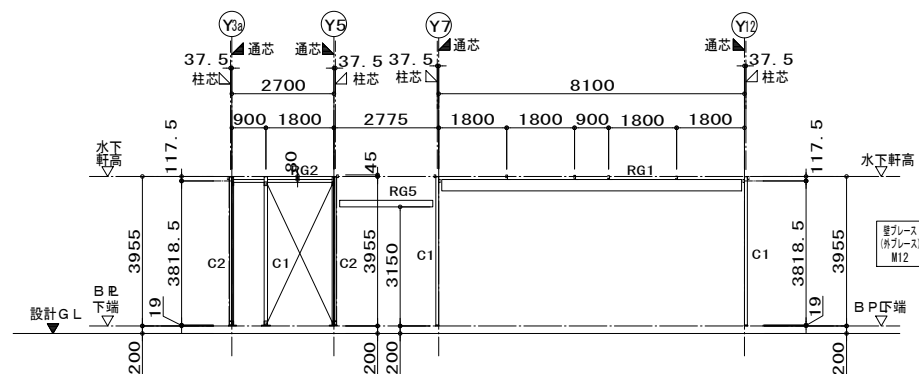
管理建築士
野添勝久
管理技術者
野添勝久
設計者
野添義二

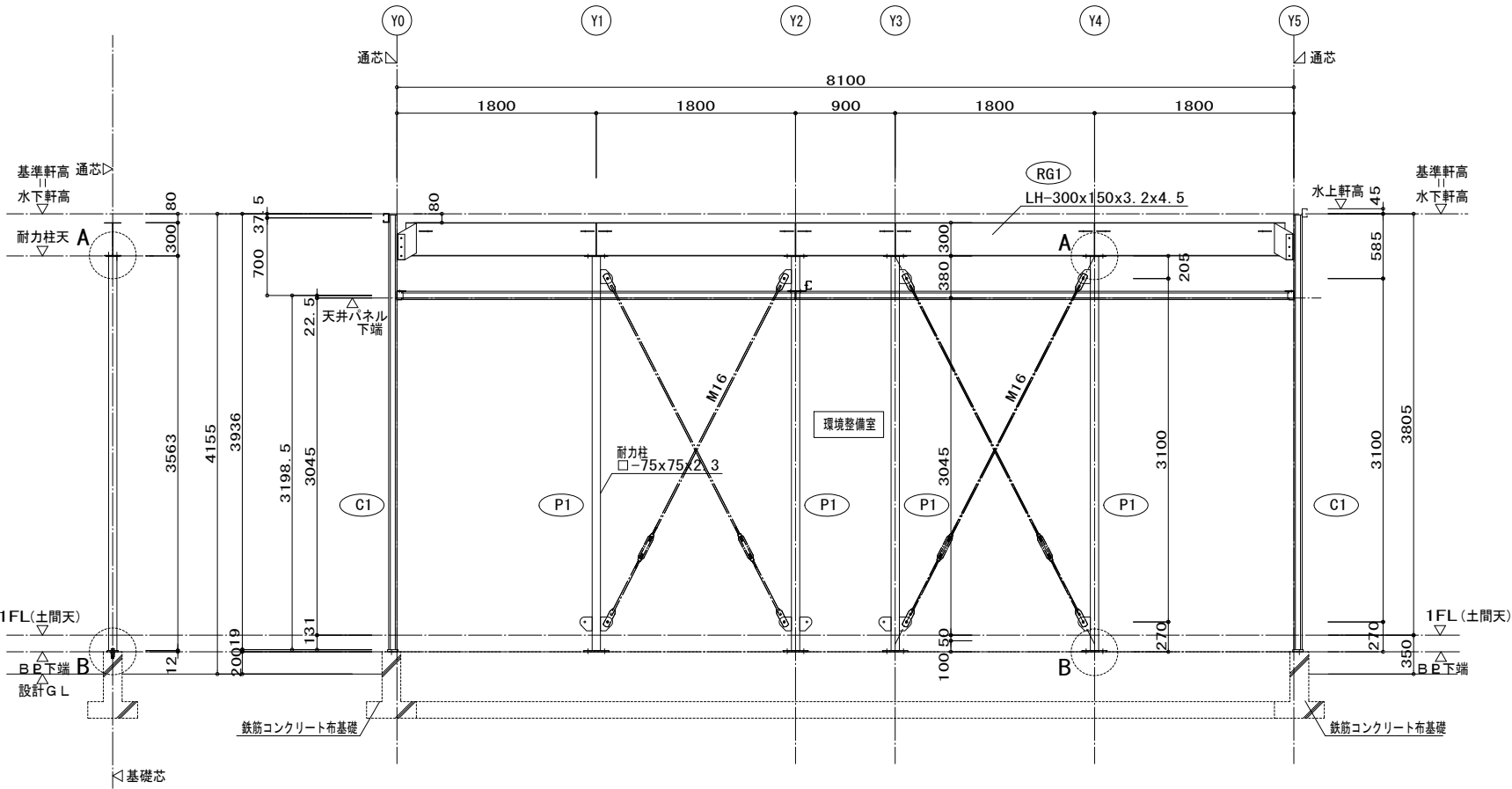
工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
図面名称
(仮設校舎) 基礎伏図

図面No.
A-18
2024. 7
A1 1/100, 1/20
A3 1/200, 1/40
1/20

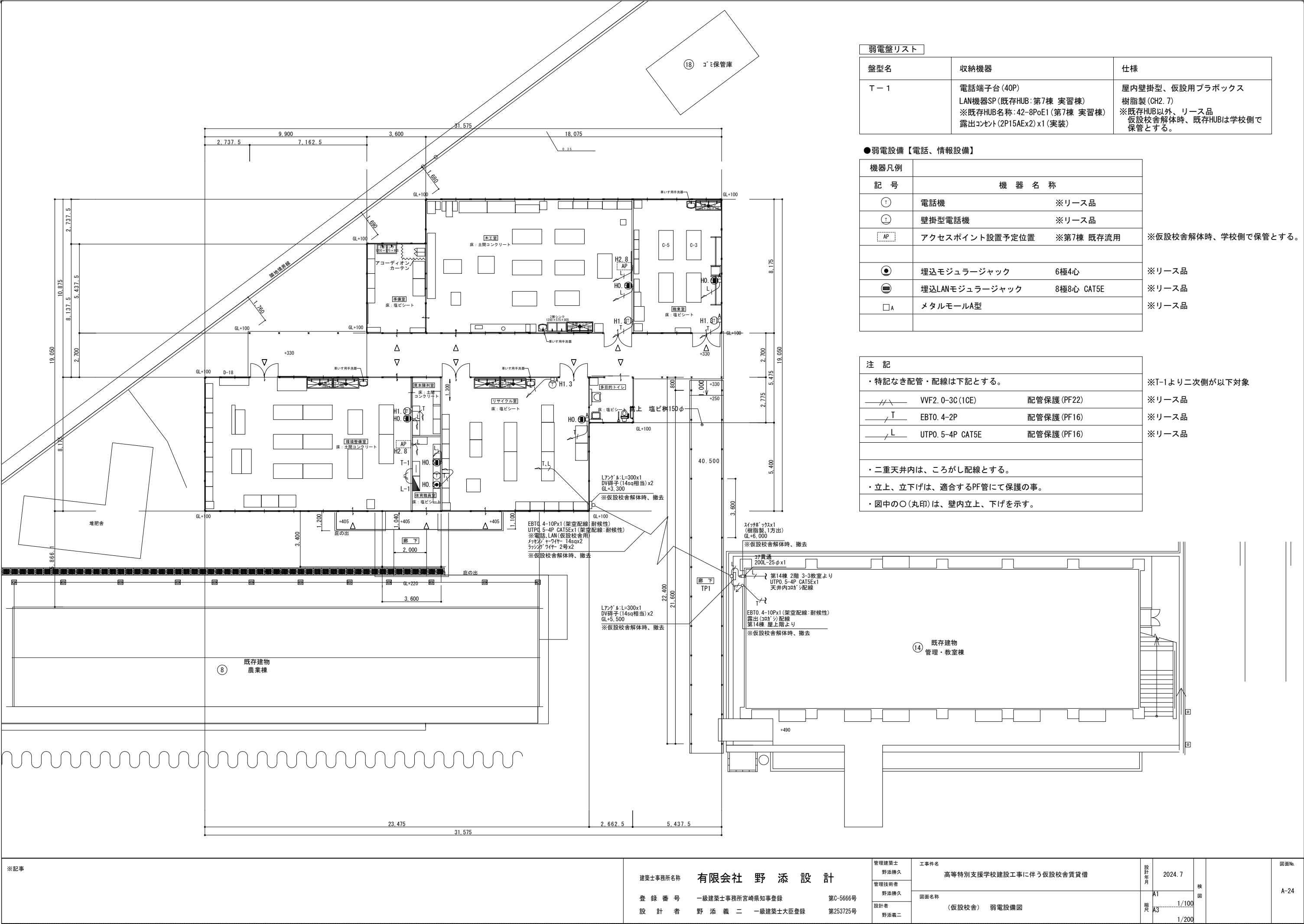


※記事	建築士事務所名称			有限会社 野 添 設 計			管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月 2024. 7	検 図	図面No. A-19
	登 録 番 号			一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号			管理技術者 野添勝久				
	設 計 者			野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号			設計者 野添義二	図面名称 (仮設校舎) 小屋伏図			
							縮尺 A1 1/100 A3 1/200				





記号	桁柱・妻柱	C1	隅柱	C2	桁柱・妻柱	C3	中廊下底部分	C4	中廊下部分	C4a	底部分	C5
断面												
部材	□C-75×90×15×3.2 (SWH400L)		□C-75×45×15×2.3 (SSC400)		□C-75×90×15×3.2 (SWH400L)		□P-75×75×2.3 (STKR400)		□P-75×75×2.3 (STKR400)		□P-75×75×2.3 (STKR400)	
			□P-60×60×1.6 (STKR400)		C-75×45×15×2.3 (SSC400)							
プレート	B、E-19.0 (SS400)		B、E-19.0 (SS400)		B、E-19.0 (SS400)		B、E-12.0 (SS400)		B、E-12.0 (SS400)		B、E-12.0 (SS400)	
ボルト	2-M16 (SNR490B)		2-M16 (SNR490B)		2-M16 (SNR490B)		2-M16 (SNR490B)		2-M16 (SNR490B)		2-M16 (SNR490B)	
記号	耐力ブレース部分 P1		小屋梁 スパン=8100 RG1		妻梁 RG2		小屋梁 スパン=5400 RG3		小屋梁 スパン=2700 RG4		中廊下 スパン=2700 RG5	
断面												
部材	□P-75×75×2.3 (STKR400)		LH-300×150×12×4.5 (SWH400)		C-75×45×15×2.3 (SSC400)		LH-250×125×3.2×4.5 (SWH400)		LH-175×90×3.2×4.5 (SWH400)		LH-175×90×3.2×4.5 (SWH400)	
プレート	B、E-12.0 TOP、E-6.0		G、E-4.5				G、E-4.5		G、E-4.5		G、E-4.5	
ボルト	2-M20 (SNR490B) 4-M12		3-M12		1-M12		2-M12		2-M12		2-M12	
記号	底部分 スパン=3400 RG6		軒桁 WG		内桁(上段)・妻梁・振止 B1		内桁(下段) B2		母屋 M			
断面												
部材	LH-175×90×3.2×4.5 (SWH400)		C-75×45×15×2.3 (SSC400)		C-75×45×15×2.3 (SSC400)		C-75×45×15×2.3 (SSC400)		C-75×45×15×2.3 (SSC400)			
プレート	G、E-4.5											
ボルト	2-M12		1-M12		1-M12		1-M12		1-M12			
記号	水平ブレース	壁ブレース(平屋)	壁ブレース(耐力部分)	使用材料								
断面	.	.	.	鋼材 SS400 SSC400 STKR400 SWH400 SWH400L <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 水平・壁ブレース SNR400B、SN400B 10.9、中ボルト(スプリングワッシャー付) プレース境部 (大臣認定番号 WTRW-0019)―― 4.8、中ボルト(スプリングワッシャー付) プレースシート SS400 耐力ブレース SN400B JIS A5540 10.9、中ボルト(スプリングワッシャー付) 耐力部 アンカーボルト SNR490B(ダブルナット構造) </div> 禁止塗装 JIS-K5621又はJIS-K5674								
部材	M12	M12	M16									
プレート	大臣認定WTRW-0019 B、S-4.5 (SS400)	B、S-6.0 (SS400)	B、S-6.0 (SS400)									
ボルト	10.9、1-M12	10.9、1-M12	10.9、2-M12									



弱電盤リスト

盤型名	収納機器	仕様
T-1	電話端子台 (40P) LAN機器SP (既存HUB: 第7棟 実習棟) ※既存HUB名称: 42-8PoE1 (第7棟 実習棟) 露出コンセント (2P15AEx2) x1 (実装)	屋内壁掛型、仮設用ブラボックス 樹脂製 (CH2.7) ※既存HUB以外、リース品 仮設校舎解体時、既存HUBは学校側で保管とする。

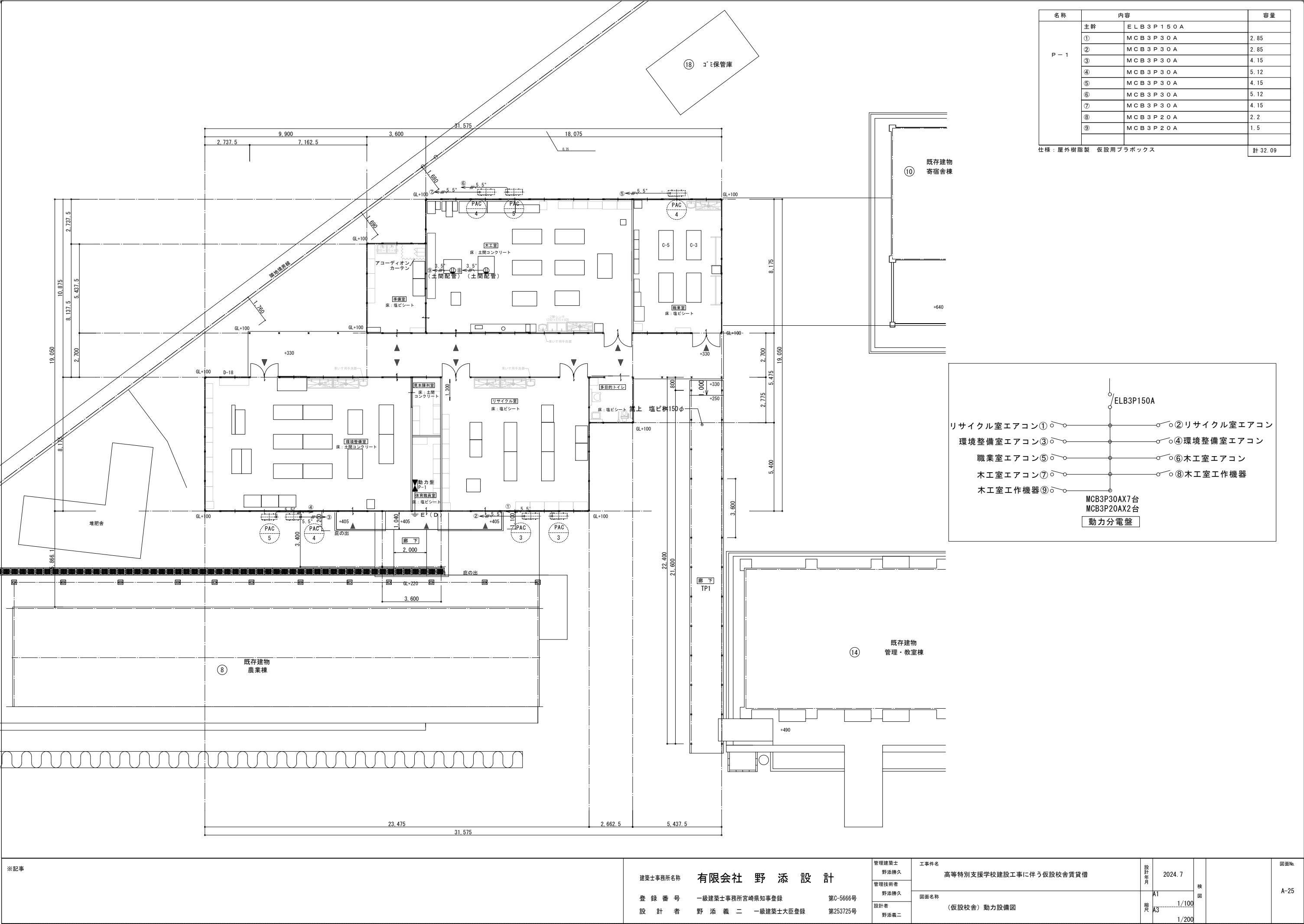
●弱電設備【電話、情報設備】

機器凡例	機 器 名 称	
記 号		
①	電話機	※リース品
②	壁掛型電話機	※リース品
AP	アクセスポイント設置予定位置	※第7棟 既存流用
		※仮設校舎解体時、学校側で保管とする。
●	埋込モジュージャック	6極4心
●	埋込LANモジュージャック	8極8心 CAT5E
□A	メタルモールA型	※リース品

注 記

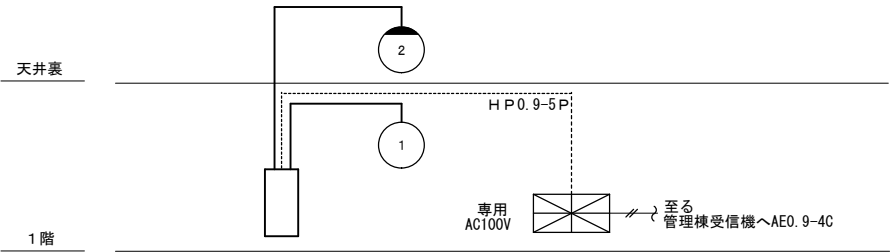
・特記なき配管・配線は下記とする。	※T-1より二次側が以下対象
—//— VVF2. 0-3C (1CE)	配管保護 (PF22)
—/T— EBT0. 4-2P	配管保護 (PF16)
—/L— UTP0. 5-4P CAT5E	配管保護 (PF16)
・二重天井内は、ころがし配線とする。	
・立上、立下げは、適合するPF管にて保護の事。	
・図中の○(丸印)は、壁内立上、下げを示す。	

※記事	建築士事務所名称			有限会社 野 添 設 計	管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計 年月 2024. 7	検 図	図面No. A-24
	登 録 番 号			一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号	管理技術者 野添勝久				
	設 計 者			野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号	設計者 野添義二	図面名称 (仮設校舎) 弱電設備図	縮尺 A1 A3 1/100 1/200		



凡 例		
記 号	名 称	備 考
	P 型 2 級受信機	蓄積機能付き 再鳴動
		火／3
	機器収容箱（P 型 2 級）	露出型
	差動式スポット型感知器	
	定温式スポット型感知器	
	光電式スポット型感知器	
	光電式スポット型感知器	天井裏設置分
	終端抵抗	
	警戒区域番号	
	警戒区域番号	天井裏
	粉末消火器 10 型	設置台付

系統図



※記事

建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計

登 録 番 号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設 計 者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

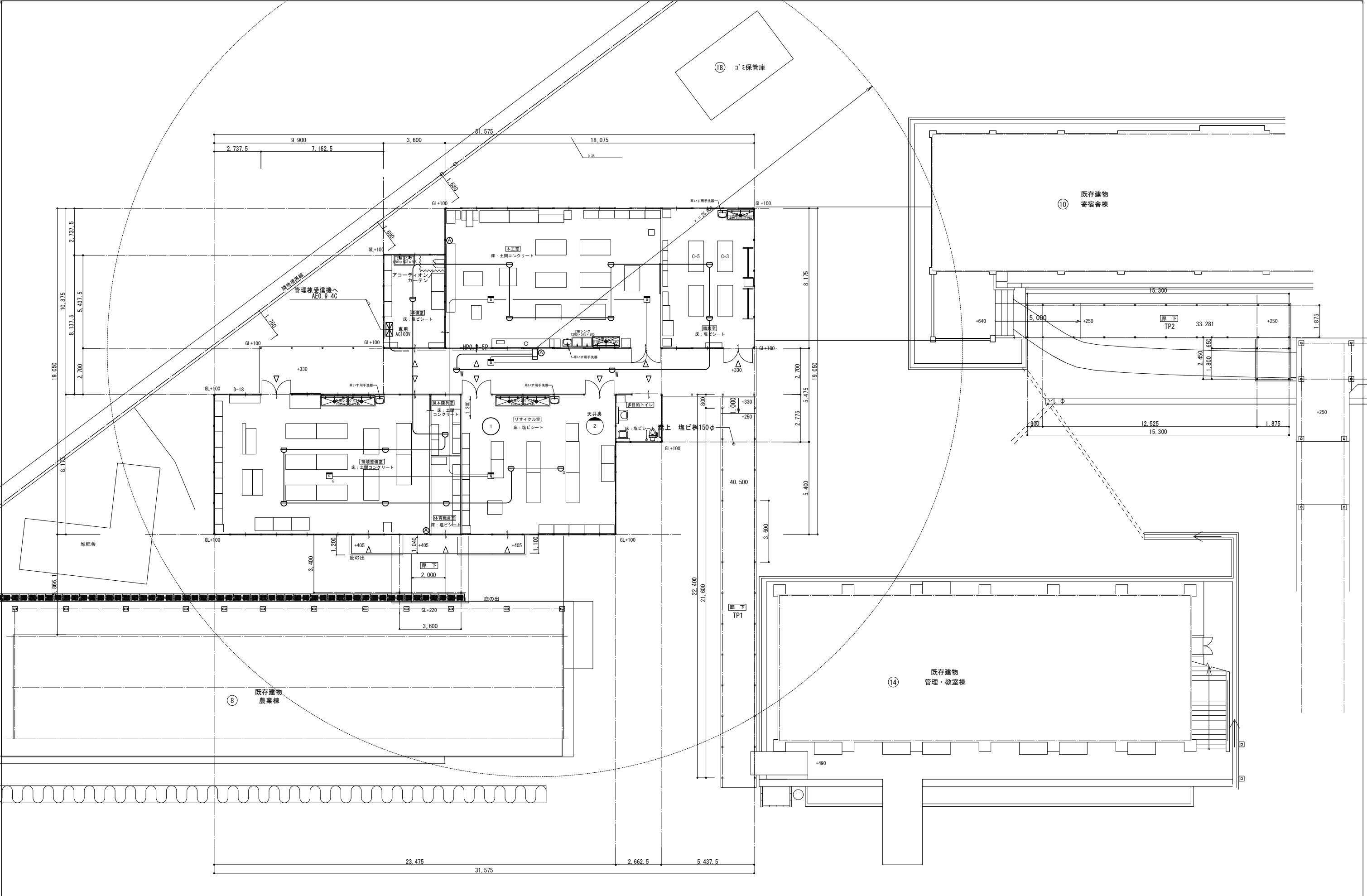
管理建築士
野添勝久
管理技術者
野添勝久
設計者
野添義二

工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
図面名称
(仮設校舎) 系統図

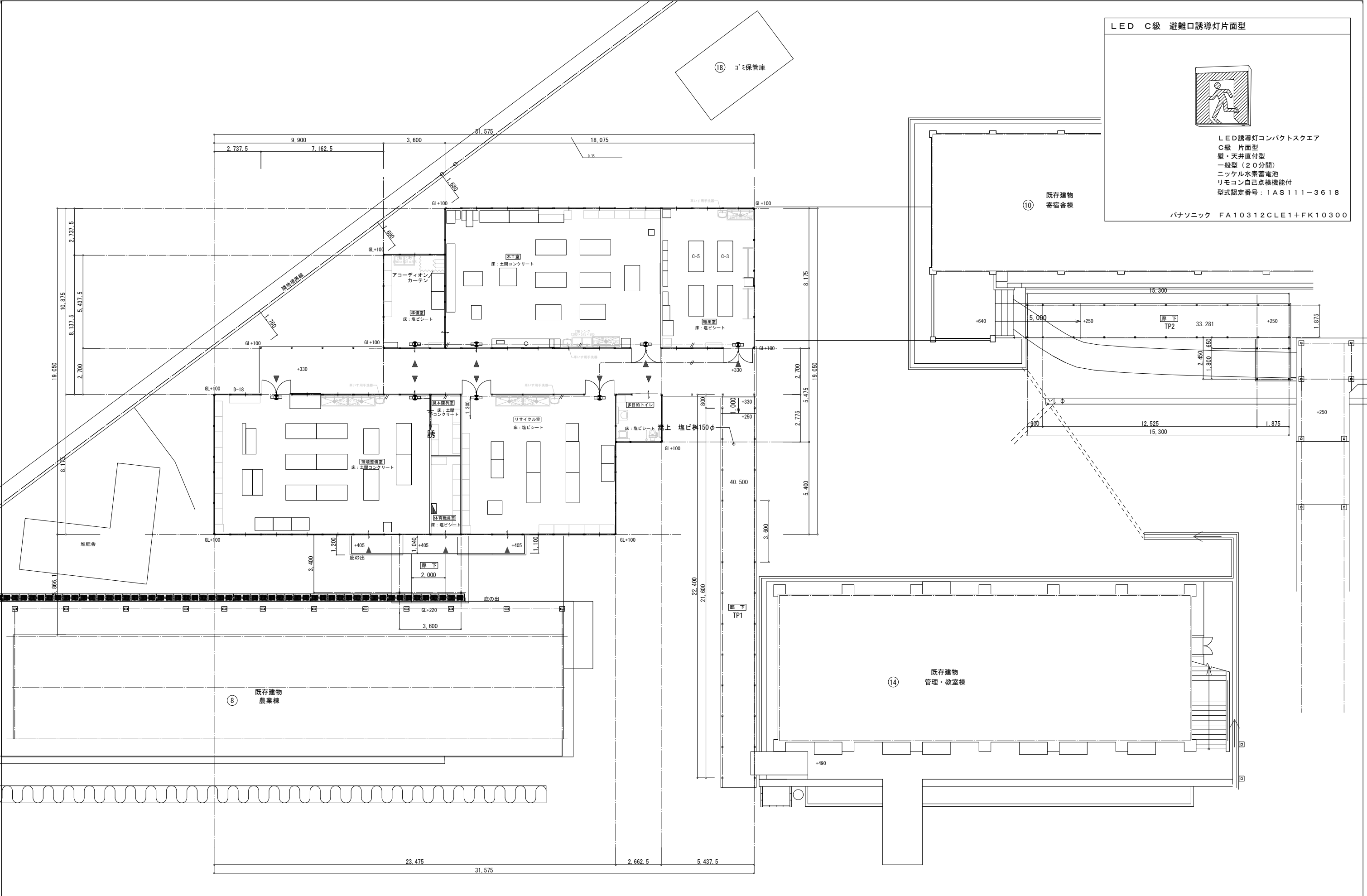
図
面
番
号
2024. 7
A1
A3
No. Scale
No. Scale

第
図

図面No.
A-26



※記事	管理建築士 野添勝久		工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月 2024. 7	検 図	図面No. A-27	
	管理技術者 野添勝久						
	登 録 番 号	一級建築士事務所宮崎県知事登録 野添勝久	第C-5666号	図面名称 (仮設校舎) 自動火災報知設備図			縮尺 A1 1/100
	設 計 者	野 添 義 二	一級建築士大臣登録 第253725号	縮尺 A3 1/200			



LED C級 避難口誘導灯片面型

LED誘導灯コンパクトスクエア
C級 片面型
壁・天井直付型
一般型（20分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付
型式認定番号：1AS111-3618

パナソニック FA10312CLE1+FK10300

※記事	建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計		管理建築士 野添勝久		工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月 2024. 7	検 図		図面No. A-28		
			管理技術者 野添勝久								
			登 録 番 号	一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号	図面名称					A1	
			設 計 者	野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号	(仮設校舎) 誘導灯設備図					縮尺 A3	1/100
										1/200	

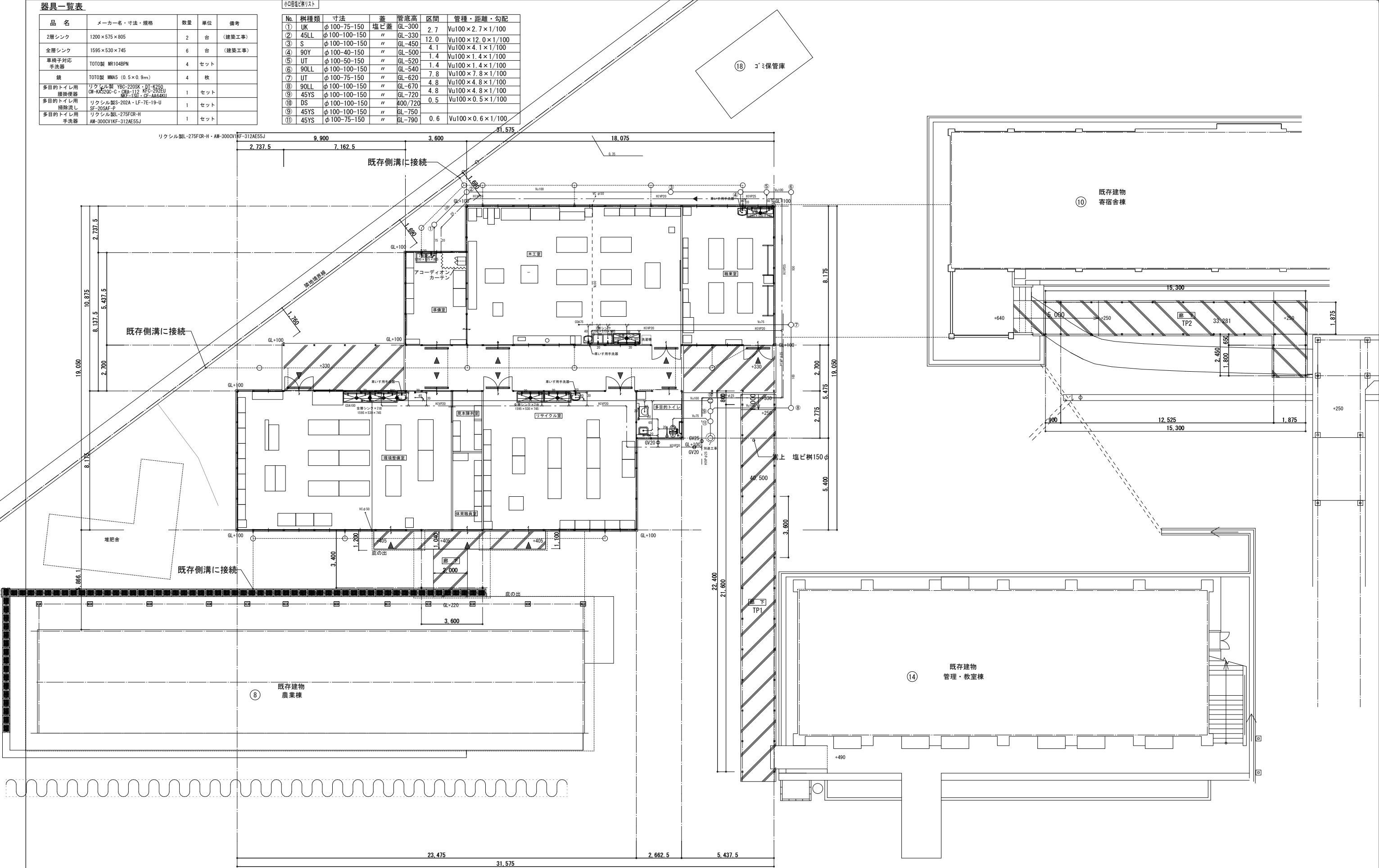
器具一覧表

品 名	メーカー名・寸法・規格	数量	単位	備考
2層シンク	1200×575×805	2	台	(建築工事)
全層シンク	1595×530×745	6	台	(建築工事)
車椅子対応 手洗器	TOTO製 MR104BPN	4	セット	
鏡	TOTO製 MMS5 (0.5×0.9m)	4	枚	
多目的トイレ用 腰掛便器	リクシル製 YBC-220SK・DT-K250 OW-KA520C・C・GWA-1112 KFC-292EU WC-1381・DE-MA64KU	1	セット	
多目的トイレ用 掃除流し	リクシル製S-202A・LF-7E-19-U SF-20SAF-P	1	セット	
多目的トイレ用 手洗器	リクシル製L-275FOR-H AM-300CV1KF-312AE55J	1	セット	

小口設備品リスト

No.	樹種類	寸法	蓋	管底高	区間	管種・距離・勾配
①	UK	φ100-75-150	塩ビ蓋	GL-300	2.7	Vu100×2.7×1/100
②	45LL	φ100-100-150	"	GL-330	12.0	Vu100×12.0×1/100
③	S	φ100-100-150	"	GL-450	4.1	Vu100×4.1×1/100
④	90Y	φ100-40-150	"	GL-500	1.4	Vu100×1.4×1/100
⑤	UT	φ100-50-150	"	GL-520	1.4	Vu100×1.4×1/100
⑥	90LL	φ100-100-150	"	GL-540	7.8	Vu100×7.8×1/100
⑦	UT	φ100-75-150	"	GL-620	4.8	Vu100×4.8×1/100
⑧	90LL	φ100-100-150	"	GL-670	4.8	Vu100×4.8×1/100
⑨	45YS	φ100-100-150	"	GL-720	0.5	Vu100×0.5×1/100
⑩	DS	φ100-100-150	"	400/720		
⑪	45YS	φ100-100-150	"	GL-750		
⑫	45YS	φ100-75-150	"	GL-790	0.6	Vu100×0.6×1/100

リクシル製L-275FOR-H・AM-300CV1KF-312AE55J



※記事




建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計
登 録 番 号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設 計 者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士 野添勝久
管理技術者 野添勝久
設計者 野添義二
工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
図面名称 (仮設校舎) 給排水設備配置図・平面図

設計年月 2024. 7
縮尺 A1 1/100
A3 1/200

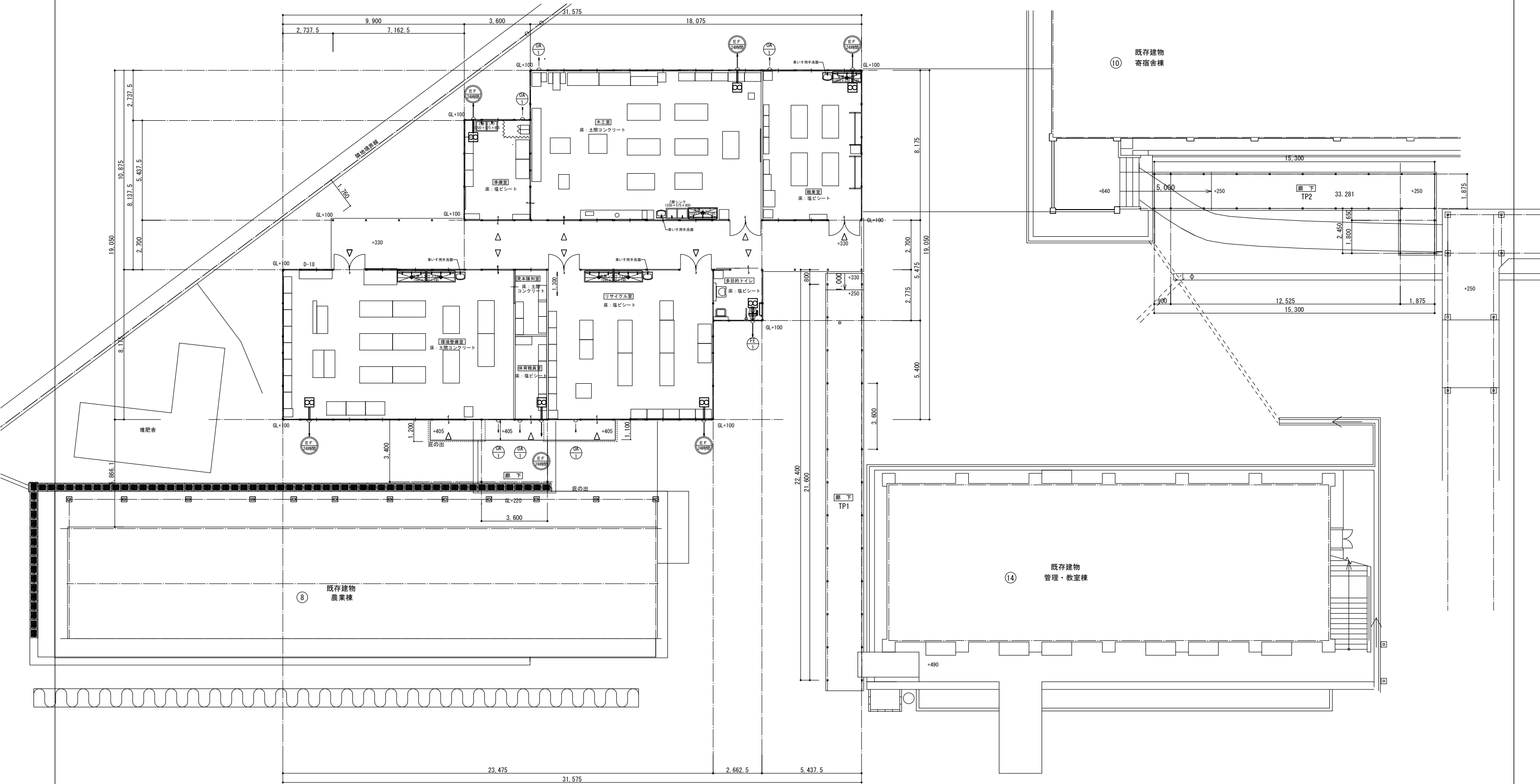
換
図

図面No.
A-29

凡 例	
	※24時間対応換気扇 FY-24C8相当とする
	FY-24C8相当とする
	給気ガラリ φ100

換気機器表						
記 号	機 器 名 称	仕 様 ・ 能 力 ・ 付 属 品	電気容量 (60Hz)		数 量	備 考
			φ-V	w		
EF-1	天井埋込換気扇	低騒音形/樹脂製/ルーバーセットタイプ 型式:FY-24C8	1-100	10.5	7	
		風 量 : φ100×108m3/h×35Pa				
		スイッチ 壁付けモールドボックス			7	
		樹脂製丸形フード(網付)、指定色塗装品			7	
OA-1	給気口	壁用φ100、フィルター付 給気グリル			6	

24時間換気計算（使用換気扇 バナリック 型式:FY-24C8）								
室 名	床面積 [㎡]	天井高 [m]	室容積 [m3]	換気種別	必要換気量 [m3/h]	設計換気量[m3/h]		換気回数 [回/h]
						記号	換気量	
準備室	19.58	3.045	59.63	第3種	17.89	EF-1	108	1.81
木工室	103.32	3.1	320.30	第3種	96.09	EF-1	108	0.33
職業室	44.46	3.045	135.39	第3種	40.62	EF-1	108	0.79
環境整備室	103.32	3.045	314.61	第3種	94.39	EF-1	108	0.34
体育職員室	8.24	3.045	25.10	第3種	7.53	EF-1	108	4.30
リサイクル室	73.89	3.045	225.00	第3種	67.50	EF-1	108	0.48



※記事

建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計

登 録 番 号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号

設 計 者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士 野添勝久

管理技術者 野添勝久

設計者 野添義二

工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃借

図面名称 (仮設校舎) 換気設備図

設計年月 2027.7

縮尺 A1 1/100 A3 1/200

換
図

図面No. A-30

機器表

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 容 量				台 数	設 置 場 所	備 考
			φ	V	冷房消費電力 (KW)	暖房消費電力 (KW)			
PAC-1	パッケージエアコン	壁掛形 1.0HP シングル	1	200	0.196	0.721	(1) 1	体育職員室	参考品番:PKZ-ZRMP28SL4
		冷房能力:2.5kW 暖房能力:2.8kW							
		ワイヤードリモコン、他標準付属品一式							
PAC-2	パッケージエアコン	壁掛形 2.0HP シングル	1	200	1.33	1.46	(1) 1	準備室	参考品番:PKZ-ERMP56SL4
		冷房能力:4.5kW 暖房能力:5.0kW							
		ワイヤードリモコン、他標準付属品一式							
PAC-3	パッケージエアコン	天井吊形 4.0HP シングル	3	200	2.72	2.85	(2) 2	リサイクル室	参考品番:PCZ-ERMP112K4
		冷房能力:10.0kW 暖房能力:11.2kW							
		防振吊金具、ワイヤードリモコン、他標準付属品一式							
PAC-4	パッケージエアコン	天井吊形 5.0HP シングル	3	200	4.15	4.06	(3) 1	木工室	参考品番:PCZ-ERMP140K4
		冷房能力:12.5kW 暖房能力:14.0kW					1	職業室	
		防振吊金具、ワイヤードリモコン、他標準付属品一式					1	環境整備室	
PAC-5	パッケージエアコン	天井吊形 6.0HP シングル	3	200	5.12	5.01	(2) 1	木工室	参考品番:PCZ-ERMP160K4
		冷房能力:14.0kW 暖房能力:16.0kW					1	環境整備室	
		防振吊金具、ワイヤードリモコン、他標準付属品一式							

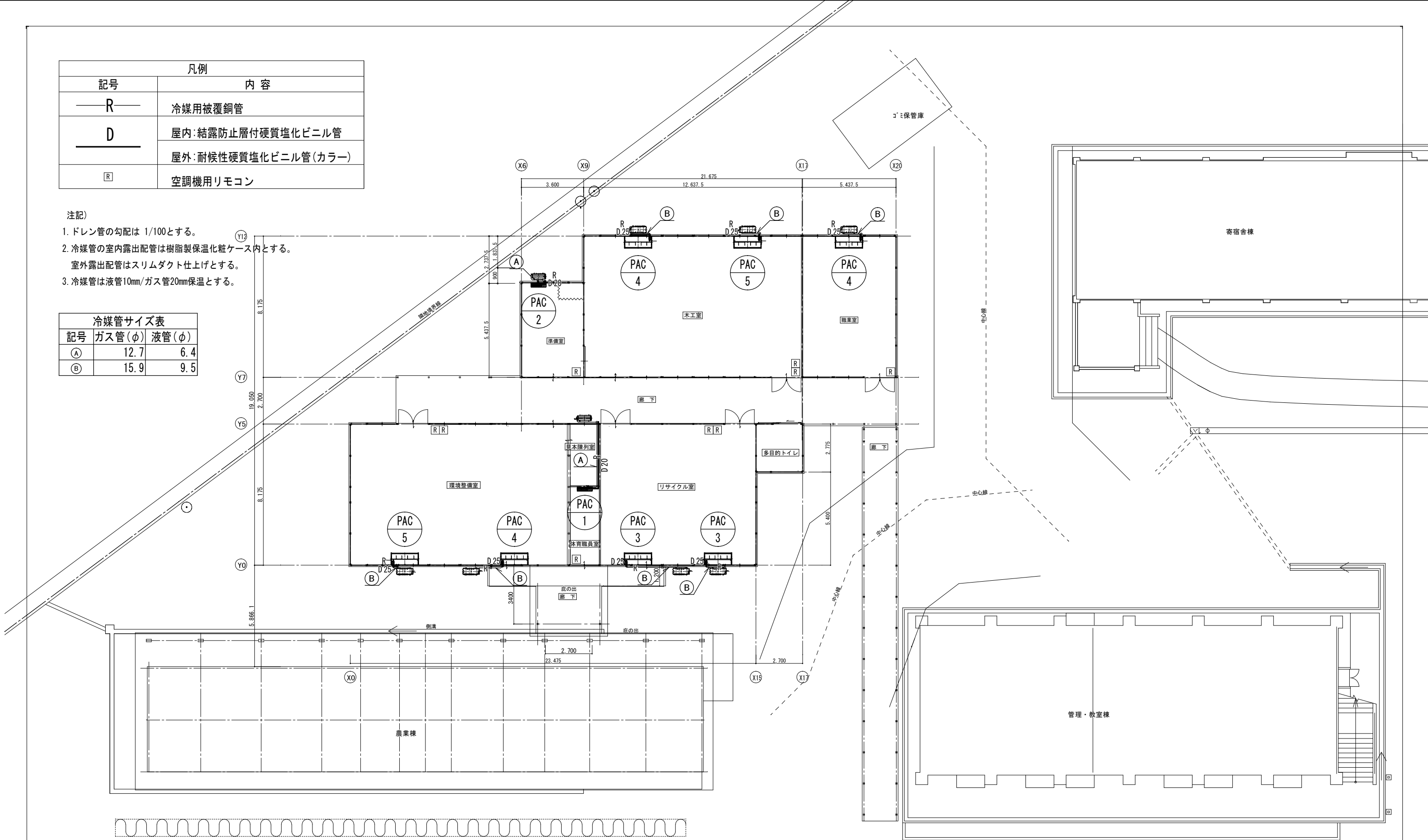
注記)
1. 屋外機には転倒防止措置を施す。
2. パッケージエアコンの定格冷暖房能力・定格冷暖房消費電力はJIS B 8616で規定された値を示す。

凡例	
記号	内 容
R	冷媒用被覆銅管
D	屋内:結露防止層付硬質塩化ビニル管 屋外:耐候性硬質塩化ビニル管(カラー)
R	空調機用リモコン

注記)

- ドレン管の勾配は 1/100とする。
- 冷媒管の室内露出配管は樹脂製保温化粧ケース内とする。
室外露出配管はスリムダクト仕上げとする。
- 冷媒管は液管10mm/ガス管20mm保温とする。

冷媒管サイズ表		
記号	ガス管(φ)	液管(φ)
A	12.7	6.4
B	15.9	9.5



※記事

建築士事務所名称 有限会社 野 添 設 計

登 録 番 号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設 計 者 野 添 義 二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士
野添勝久
管理技術者
野添勝久
設計者
野添義二

工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
図面名称
(仮設校舎) 空調設備 (リースエアコン) 平面図




図面No.
A-32

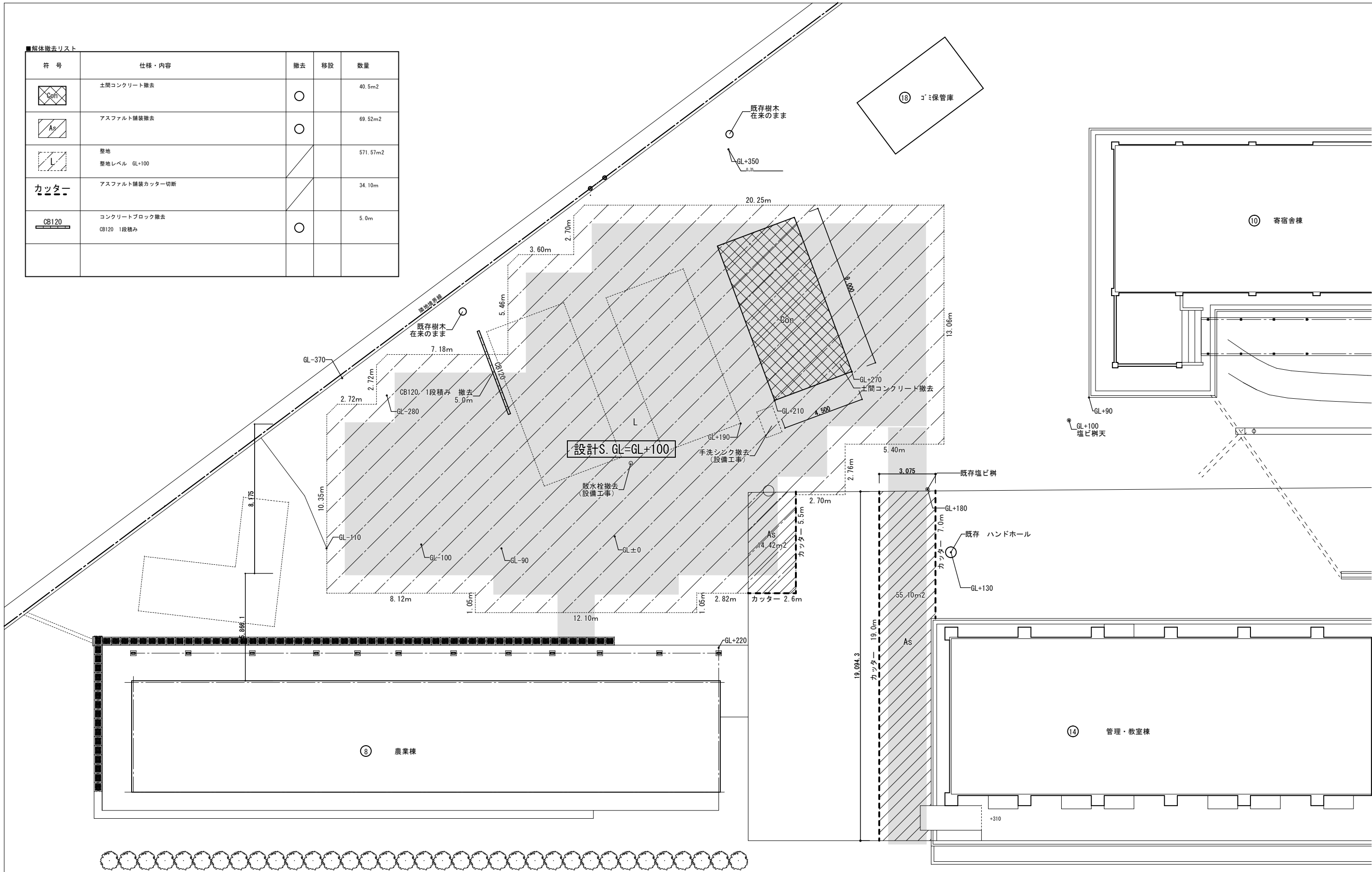
2024. 7
1/100
1/200

第 3 図

図面No.
A-32

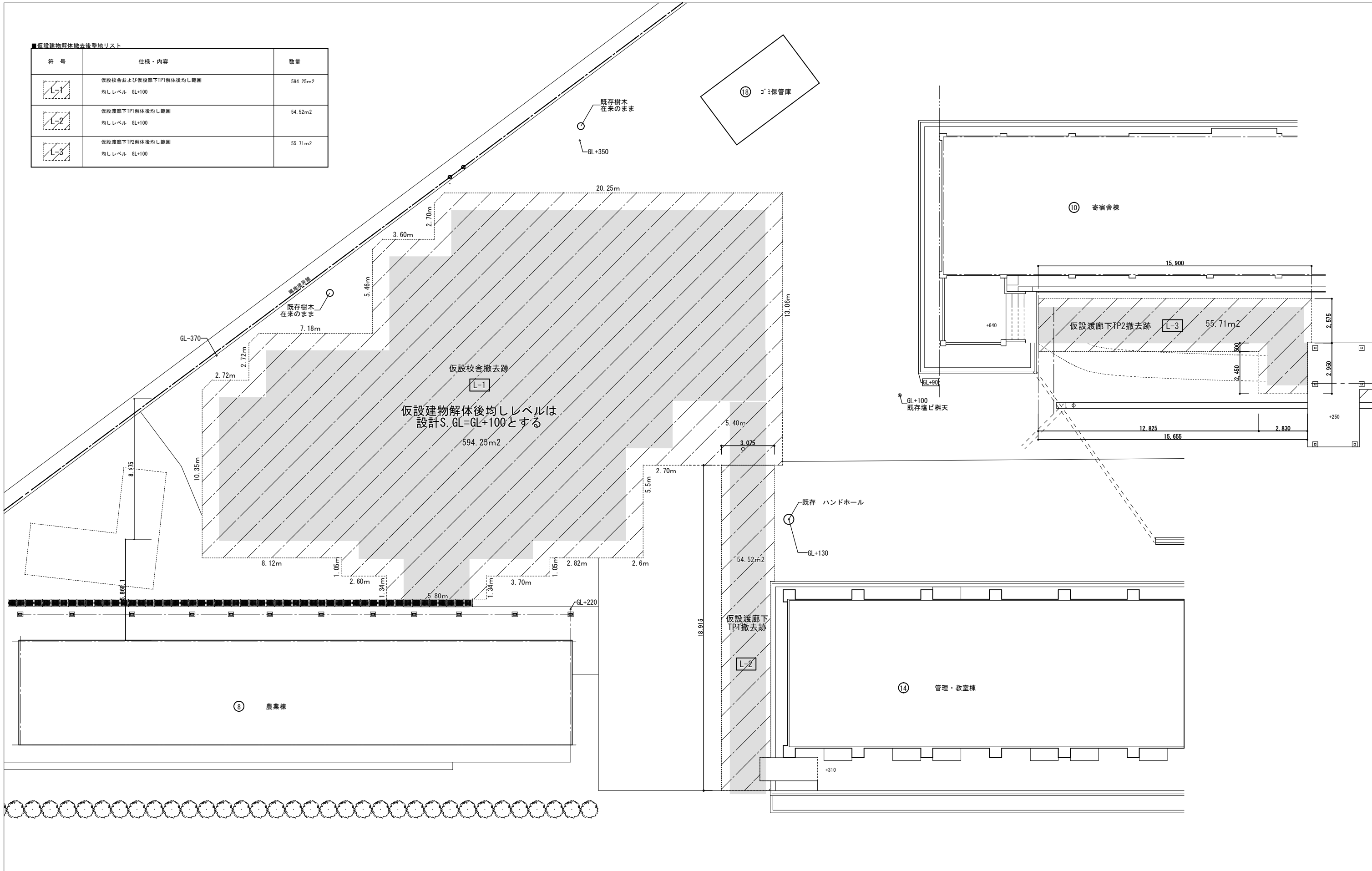
■軽体撤去リスト

符 号	仕様・内容	撤去	移設	数量
	土間コンクリート撤去	○		40.5m ²
	アスファルト舗装撤去	○		69.52m ²
	整地 整地レベル GL+100			571.57m ²
カッター	アスファルト舗装カッター切断			34.10m
CB120	コンクリートブロック撤去 CB120 1段積み	○		5.0m



■仮設建物解体撤去後整地リスト

符 号	仕様・内容	数量
L-1	仮設校舎および仮設廊下TP1解体後均し範囲 均しレベル GL+100	594.25m ²
L-2	仮設渡廊下TP1解体後均し範囲 均しレベル GL+100	54.52m ²
L-3	仮設渡廊下TP2解体後均し範囲 均しレベル GL+100	55.71m ²



※記事					管理建築士 野添勝久		工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	図面年月 2024. 7	第 図 A-34		図面No. A-34
					管理技術者 野添勝久						
	登 録 番 号		一級建築士事務所宮崎県知事登録		第0-5666号		図面名称 (仮設校舎) 仮設建築物解体後敷地整備図				
	設 計 者		野 添 義 二 一級建築士大臣登録		第253725号		設計者 野添義二				
							縮尺 A1 A3 1/100 1/200				